

営繕積算システム RIBC2

**標準単価作成システム Ver.13**  
**リファレンスマニュアル**

## お問い合わせ先

### ■ヘルプデスク（システムの内容、操作方法についてのお問い合わせ）

9:00～12:00 および 13:00～17:30（土日祝祭日、指定の休業日を除く）

TEL 03-5425-2518

E-Mail [ribchelp@ribc.or.jp](mailto:ribchelp@ribc.or.jp)

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 技術専門員

### ■契約窓口（お申込み、契約等についてのお問い合わせ）

9:00～12:00 および 13:00～17:30（土日祝祭日、指定の休業日を除く）

- ・都道府県、政令指定都市、国土交通省（協議会ユーザー）

TEL 03-6453-0857

- ・その他の公共発注機関（公共機関ユーザー）

TEL 03-3434-3715

- ・設計・積算事務所等（一般ユーザー）

TEL 03-3434-3290

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 システム部

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 フロンティア御成門 5F

### ■発行図書の内容についてのお問い合わせ

TEL 03-3434-1530

### ■コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

- ・Microsoft、Windows、Excel および Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  - ・Adobe、Acrobat、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
  - ・その他の製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。
  - ・本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
  - ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
-

## 総目次

### はじめに

I. 共通メニュー.....	I -1
II. 一次単価ファイル.....	II -1
III. 「その他」の率ファイル.....	III-1
IV. 補正率ファイル.....	IV-1
V. 標準単価ファイル.....	V-1
VI. 歩掛りファイル.....	VI-1
VII. 計算情報ファイル.....	VII-1
VIII. 名称ファイル.....	VIII-1

### 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)







# はじめに

## 目次

### はじめに

#### 標準単価作成システムのデータファイル

単価計算の過程で作成するファイル.....	2
独自にデータを作成する場合.....	3
メンテナンス Excel ファイル.....	3

#### データファイルの保存場所について

例 1 新営工事のみを計算する場合.....	4
例 2 改修工事や撤去工事を計算する場合.....	5
例 3 時期や地区ごとに計算用フォルダを分ける場合.....	6

#### 標準単価作成システムの起動

標準単価作成システムの起動方法.....	7
異常終了したファイルの回復画面が表示されたとき.....	8
各ファイルの開き方.....	8

#### 機能説明について

#### 画面構成と各部の名称

#### リファレンスマニュアルについて

リファレンスマニュアル全体を表示させたい場合.....	16
他のリファレンスマニュアルに移動する場合.....	17
QR コードについて.....	18

#### I. 共通メニュー

#### II. 一次単価ファイル

#### III. 「その他」の率ファイル

#### IV. 補正率ファイル

#### V. 標準単価ファイル

#### VI. 歩掛りファイル

#### VII. 計算情報ファイル

#### VIII. 名称ファイル

## 標準単価作成システムのデータファイル

コスト研から提供される名称ファイルおよび歩掛りファイル（共通歩掛り）と、ユーザーが計算の過程で作成する一次単価ファイルや「その他」の率ファイル等があります。

また、ユーザーが独自に作成した歩掛り（独自歩掛り）を一緒に計算させることもできます。

### 単価計算の過程で作成するファイル

#### 一次単価ファイル



歩掛りファイルから項目を生成し、材料単価や労務単価、機械器具費、仮設材費、市場単価等、単価計算に必要な単価を入力します。

※（一財）経済調査会または（一財）建設物価調査会から一次単価データまたは市場単価データを購入し、単価を一次単価ファイルへ読み込むこともできます。  
なお、料金、仕様、契約等については両調査会へお問い合わせください。

#### 「その他」の率ファイル



歩掛りファイルから項目を生成し、「その他」の率を入力します。

#### 標準単価ファイル



複合単価、市場単価、補正市場単価、材料単価、労務単価、機械器具費、仮設材費等が収録されます。

RIBC2 では、以下のファイルを作成することができます。

- ①新営工事および全館無人改修工事単価
- ②執務並行改修工事単価
- ③撤去工事単価（新設歩掛りを補正した労務歩掛りによる撤去工事単価（電気・機械設備工事のみ））
- ④その他

#### 計算情報ファイル



計算を行わない歩掛りや、端数処理を行わない歩掛り等の情報を保存しておくファイルです。1回目の単価計算をもとに作成を行い、2回目以降の単価計算時にこのファイルを参照して、保存した計算情報を反映した単価計算を行います。

#### 補正率ファイル










「執務並行改修工事単価」や「撤去工事単価（新設歩掛りを補正した労務歩掛りによる撤去工事単価（電気・機械設備工事のみ））」を算定する際に必要な補正率を入力します。





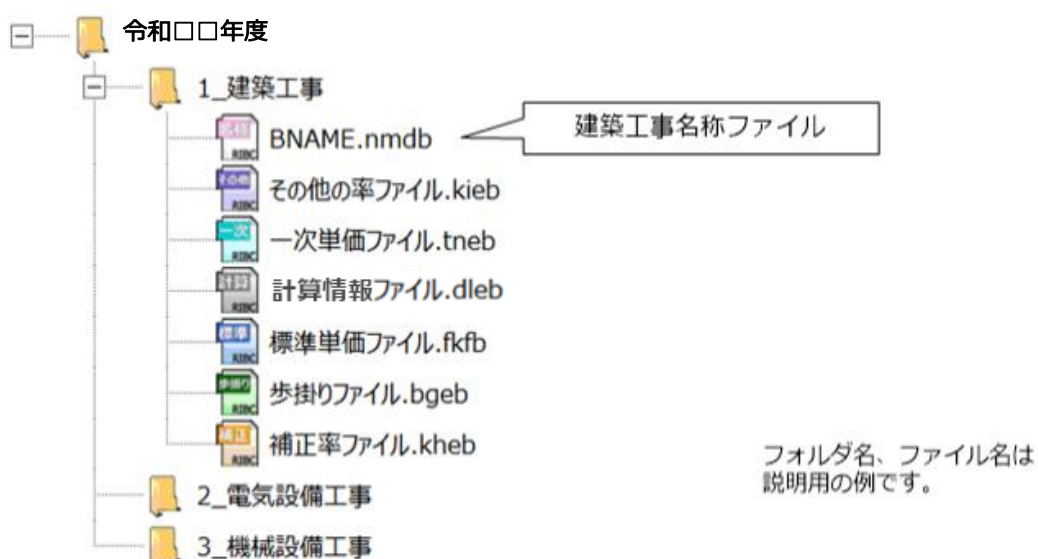
## データファイルの保存場所について

単価計算に使用するデータファイルは、ファイルを保存する階層に以下の①～③の制限があります。

- ①  標準単価ファイルと  歩掛りファイルは同一のフォルダ内に保存します。
- ②  一次単価ファイル、 「その他」の率ファイル、 計算情報ファイル、 補正率ファイルは、①のファイルを保存したフォルダの中に保存するか、一つ上の階層のフォルダに保存します。
- ③  名称ファイルは、①のフォルダから上位 2 階層以内のフォルダへ保存します。

### 例 1 新営工事のみを計算する場合

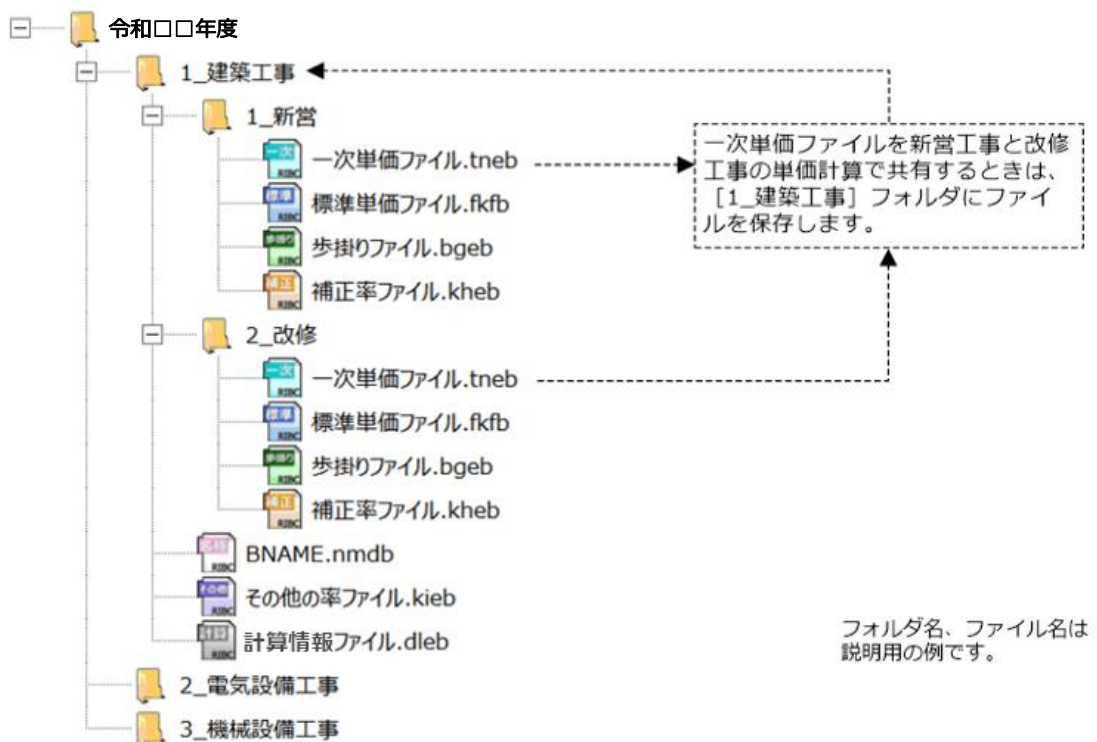
 名称ファイルや  歩掛りファイル等、単価計算に使用する各ファイルはすべて同じフォルダに保存します。年度、工事毎にフォルダを作成した場合のファイル保存のツリーイメージを下記に示します。



## 例2 改修工事や撤去工事を計算する場合

歩掛りファイルや標準単価ファイルは新営工事と改修工事、撤去工事で別々のフォルダに保存します。下記のツリーイメージは、[1\_建築工事] フォルダの下に新営工事用と改修工事用のフォルダを作成し、歩掛りファイルや標準単価ファイルと一緒に一次単価ファイルと補正率ファイルも保存しています。新営と改修の計算で共有する名称ファイルや「その他」の率ファイル等は、歩掛りファイル等を収録したフォルダの一つ上の階層に保存します。

※ 一次単価ファイルや補正率ファイルを新営工事と改修工事の計算で共有するときは、[1\_建築工事] フォルダへファイルを保存します。

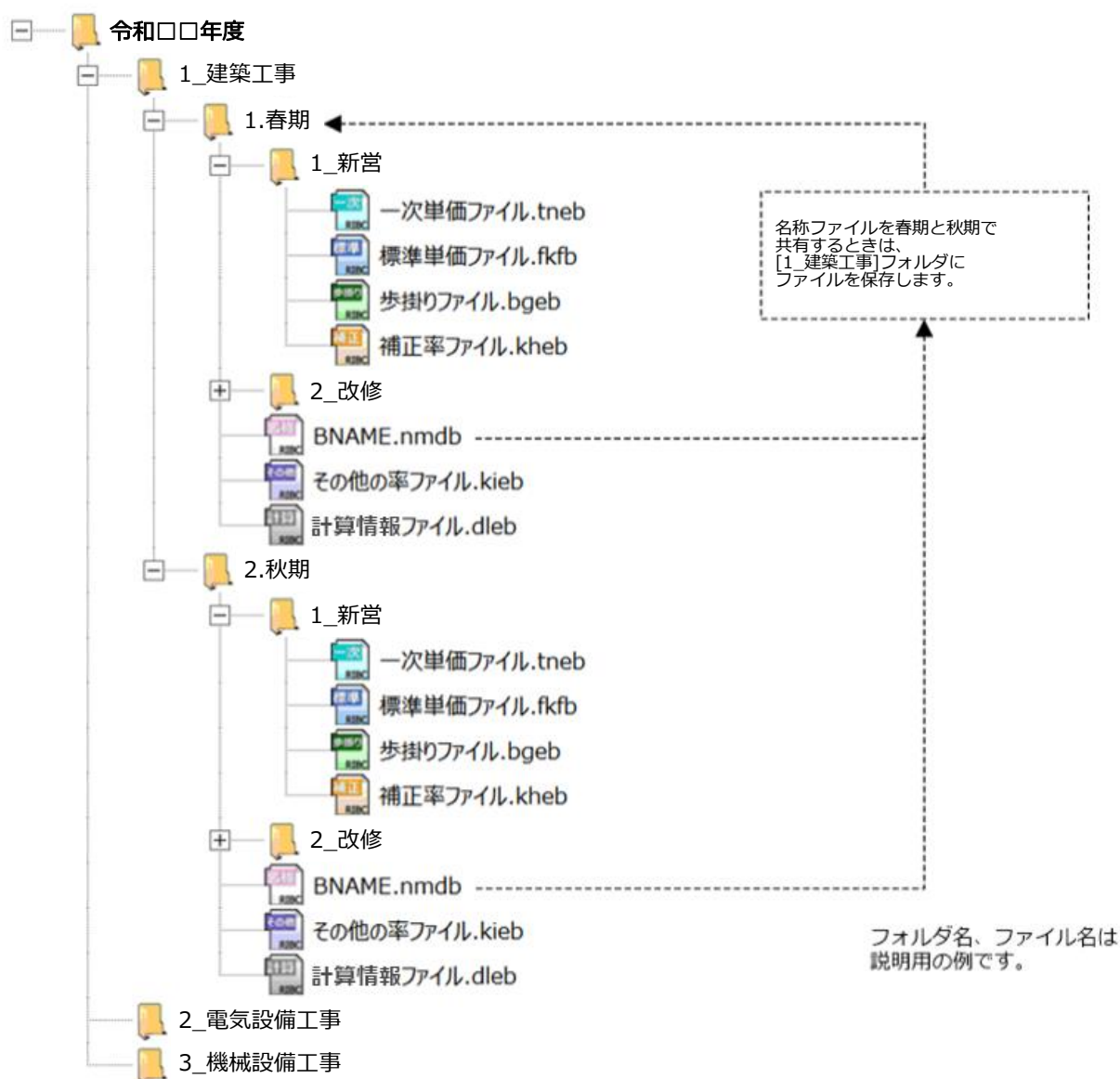


### 例3 時期や地区ごとに計算用フォルダを分ける場合

データ改定などで名称ファイルの内容が変更された場合は、前回の計算とは別のフォルダを作成して名称ファイルを別々に保存します。

例えば、春期の計算は令和5年度用の名称ファイル、秋期の計算で使用する名称ファイルは令和6年度用の名称ファイルである場合、下記のツリーイメージでデータファイルを保存します。


※名称ファイルを春期と秋期で共有するときは、[1\_建築工事]と同じフォルダへ名称ファイルを保存します。



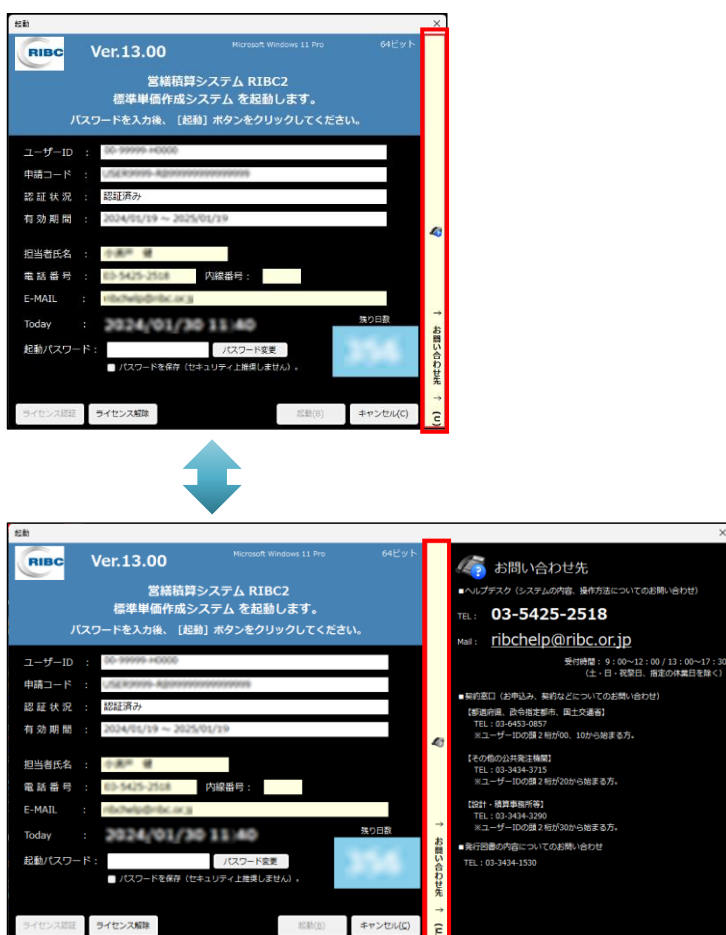
# 標準単価作成システムの起動

## 標準単価作成システムの起動方法

1. 以下のいずれかを実行します。

- (Windows11 の場合) スタートメニューの [すべてのアプリ] から [RIBC2] フォルダを開き、[標準単価作成システム]をクリックする。
- (Windows10 の場合) スタートメニューの [RIBC2] フォルダを開き、[標準単価作成システム] をクリックする。
- デスクトップの  アイコンをダブルクリックする。

2. [起動] 画面が表示されます。有効期間やユーザーID もこの画面に表示されます。



※「お問い合わせ先」をクリックすると、「お問い合わせ」欄の表示を切り替えることができます。



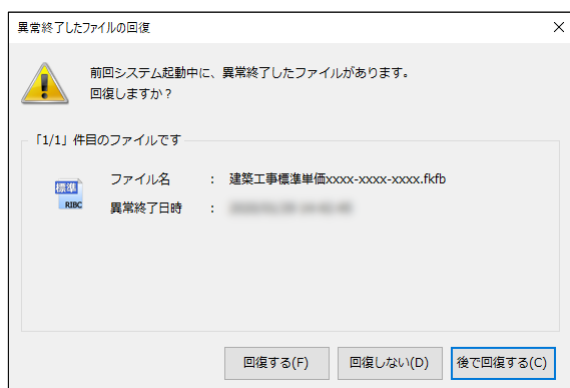
3. [起動パスワード] 欄が未入力の場合、[起動パスワード] 欄をクリックすると、[起動パスワード] 画面が表示されます。  
[パスワード] 欄に、起動パスワード（ライセンス認証の実行時に表示された4桁の英数字）を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



4. [起動] 画面の [起動パスワード] 欄に、起動パスワードが入力されていることを確認し、[起動] ボタンをクリックします。

## 異常終了したファイルの回復画面が表示されたとき

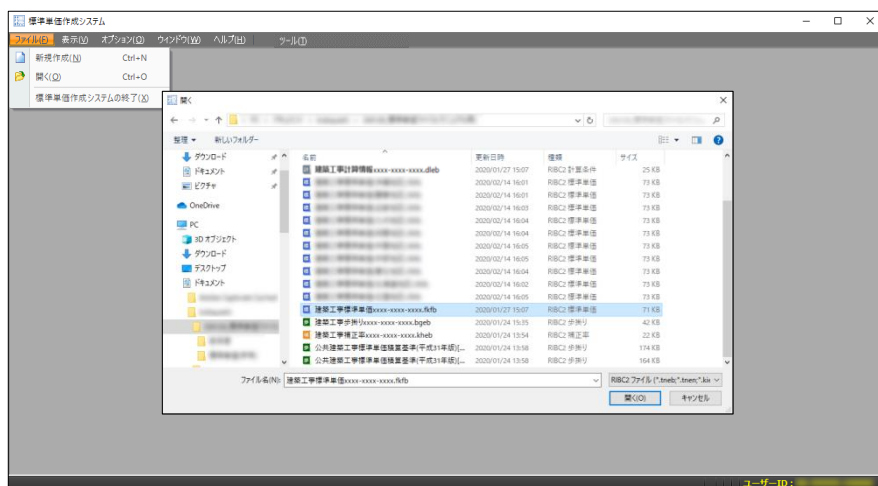
[回復する] ボタンをクリックすると、前回のシステム起動中に異常終了したファイルを回復することができます。



## 各ファイルの開き方

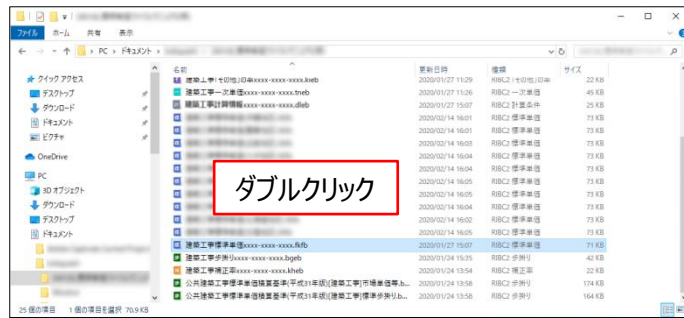
標準単価作成システムで使用するファイルを開くには、以下のいずれかを実行します。

- ・ ファイルメニューから開く。

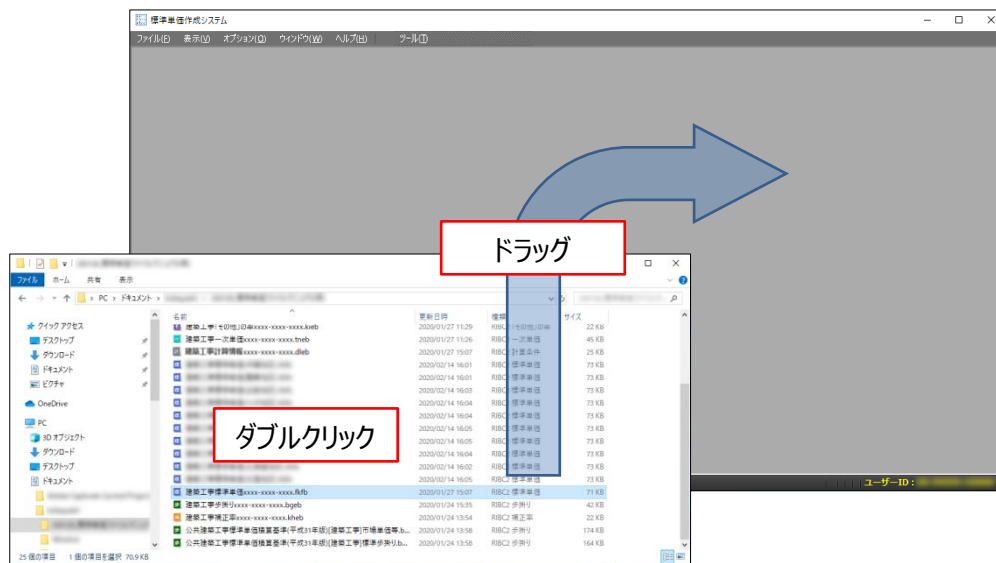





- ・エクスプローラーで各ファイルの保存場所を開き、ファイルをダブルクリックする。



- ・エクスプローラーで各ファイルの保存場所を開き、ファイルのアイコンを標準単価作成システムの画面にドラッグする。



《注》所定のフォルダに  名称ファイルが存在しない場合は、各ファイルを開くことはできません。


## 機能説明について

各ファイルの機能説明に記載されている説明の意味は、以下のとおりです。

メニュー名

メニューアイコン



ショートカットキー

**新規作成**  **Ctrl + N**  
**Alt + F + N**

選択したファイルを新規作成します。

どのファイルについての操作ができるかを示しています。

コンテキストメニュー(右クリックで表示されるメニュー)に表示されるかを示しています。

**削除**   **Del**  
**Alt + E + D**

選択した行を削除クリアします。

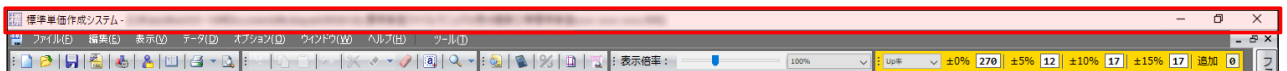
メニュー	ショートカット
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
行を挿入(I)	
<b>削除(D)</b>	<b>Del</b>
選択行の内容をクリア(R)	
一括クリア(N)	
すべて選択(A)	Ctrl+A
摘要名称検索(T)...	
歩掛り検索(B)...	
率一括入力(R)...	
採用単価選択(Q)...	

細目	摘要	労材区分	備考	年月日時分
すべて	すべて	すべて	すべて	すべて
鉄筋コウト用異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D10 少量	材料	B0-116132 01 01 01 00 00 00	20/01/2 13:55
鉄筋コウト用異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D13 少量	材料	B0-116132 01 01 02 00 00 00	20/01/2 13:55
リッパ付軽量薄形鋼	60×30×10×2.3 SSC400相当品	材料	B0-215316 02 01 00 00 00 00	20/01/2 13:55
リッパ付軽量薄形鋼	75×45×15×2.3 SSC400相当品	材料	B0-215316 04 01 00 00 00 00	20/01/2 13:55
六角材	W3/8 冷間材-	材料	B0-215414 02 00 00 00 00 00	20/01/2 13:55

# 画面構成と各部の名称



## 1. タイトルバー



現在表示しているファイルのファイル名が表示されます。

右端には、 (最小化) ボタン、 (最大化/元に戻す) ボタン、 (閉じる) ボタンがあります。

## 2. メニューバー



ファイル (F)、編集 (E)、表示 (V)、データ (D) 等、操作可能な項目が一行に並んでいます。

## 3. ツールバー



操作を簡易化するために用意されたボタン等の集まりです。

#### 4. アドレスバー



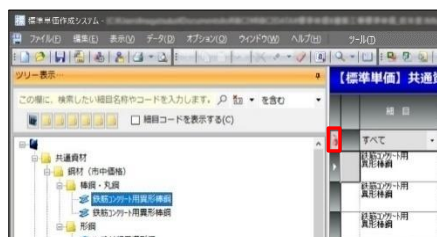
現在カーソルがある単価・歩掛り等のツリーの場所が表示されます。

#### 5. 列見出し



細目、摘要、単位、数量、単価、金額、備考等。

#### 6. フィルター解除ボタン



列フィルターをまとめて解除します。

#### 7. 列フィルター



データ絞り込み、データ抽出します。

## 8. 行選択ボタン

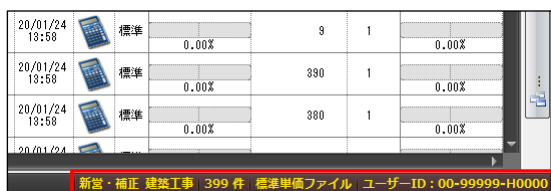


行を選択する時に画面左端の行選択ボタンを押します。

※連続する行を選択するときは、開始行の行選択ボタンをクリックし、最終行は [Shift] キーを押しながら行選択ボタンをクリックします。

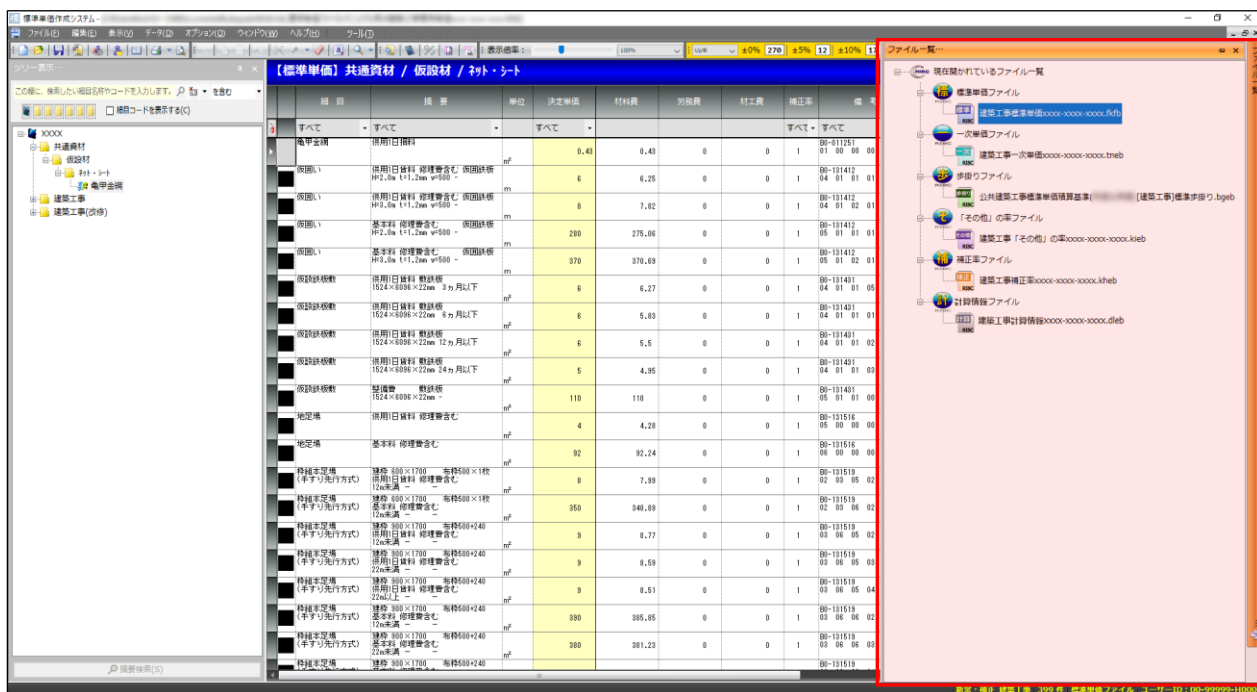
離れている行を選択するときは、[Ctrl] キーを押しながら行選択ボタンをクリックする操作を繰り返します。

## 9. ステータスバー



表示件数、ファイルの種類、このパソコンのユーザーIDが表示されます。

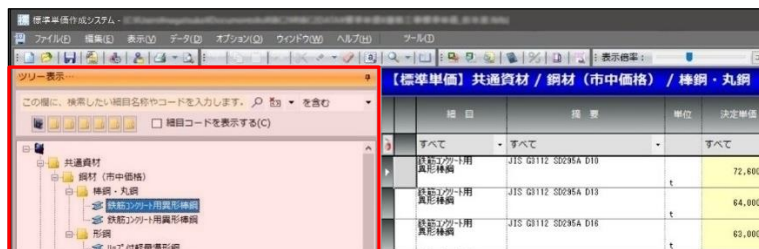
## 10. ファイラー一覧タブ



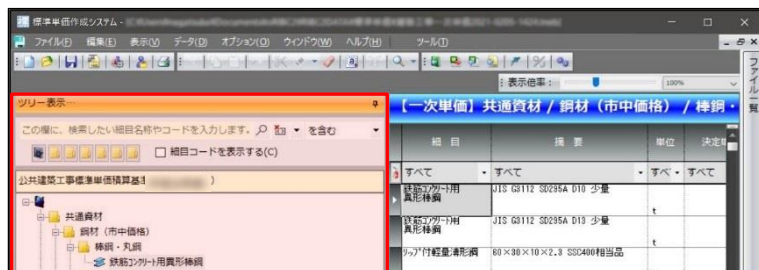
現在開いている標準単価作成システムのファイラー一覧を表示します。

## 11. ツリー表示タブ

### ・標準単価ファイル、計算情報ファイル、歩掛りファイルの場合



### ・一次単価ファイルの場合



単価や歩掛りの名称をフォルダに分類して階層表示します。細目名称をクリックすると、データ画面の表示が目的の細目名称に切り替わります。

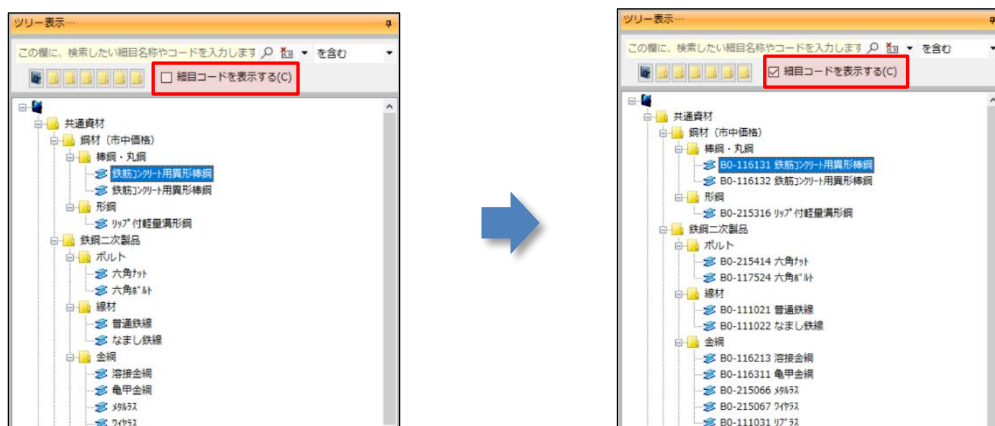
また、一次単価ファイルの場合は、カーソルのある行の出典が表示されます。

### 表示例

- ・公共建築工事標準単価積算基準
- ・公共建築工事積算基準等資料
- ・公共住宅工事標準単価積算基準

※「その他」の率ファイルと補正率ファイルのウィンドウでは表示されません。

※「細目コードを表示する」にチェックをすると、細目コードが表示されます。





※「この欄に、検索したい細目名称やコードを入力します。」に細目名称や細目コードを入力し、検索をすると、一致する細目名称が表示されます。

【標準単価】 共通資材 / 鋼材 (市中価格) / 棒鋼・丸鋼

細目	摘要	単位	決定単価	材料費	労務費	材工費	補正率	備考
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S10285A D10	t	72,600	66,000			1.1	80-116191 01 01 01 00 00 00
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S10285A D13	t	64,000	64,000			1	80-116191 01 01 02 00 00 00
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S10285A D16	t	63,000	63,000			1	80-116191 01 01 03 00 00 00
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S1045 D18	t	65,000	65,000			1	80-116191 01 03 00 00 00 00
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S1045 D19	t	65,000	65,000			1	80-116191 01 03 04 00 00 00
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S1045 D22	t	65,000	65,000			1	80-116191 01 03 05 00 00 00
棒鋼(方)用 真形棒鋼	JIS G8112 S1045 D25	t	65,000	65,000			1	80-116191 01 03 06 00 00 00

【標準単価】 共通資材 / 鉄鋼二次製品 / ボルト

細目	摘要	単位	決定単価	材料費	労務費	材工費	補正率	備考
六角ボルト	六角ボルト M22×長さ80mm	本	56.3	56.3			1	80-117524 01 01 00 00 00 00
普通鉄線	#8 径4.0	kg	120	120			1	80-11621 02 00 00 00 00 00
なまし鉄線	#10 径9.2mm	kg	131	131			1	80-11622 02 00 00 00 00 00
なまし鉄線	#21 径9.8mm	kg	158	158			1	80-11622 05 00 00 00 00 00
溶接金網	径 4.0 E <sub>2</sub> 牙 100×100	m <sup>2</sup>	295	295			1	80-116213 02 03 00 00 00 00
溶接金網	径 4.0 E <sub>2</sub> 牙 150×150	m <sup>2</sup>	200	200			1	80-116213 02 04 00 00 00 00
溶接金網	径 5.0 E <sub>2</sub> 牙 100×100	m <sup>2</sup>	295	295			1	80-116213 03 03 00 00 00 00

## リファレンスマニュアルについて

標準単価作成システムでは、ヘルプメニューから表示しているファイルに関するリファレンスマニュアル(本書)を閲覧することができます。

### リファレンスマニュアル全体を表示させたい場合

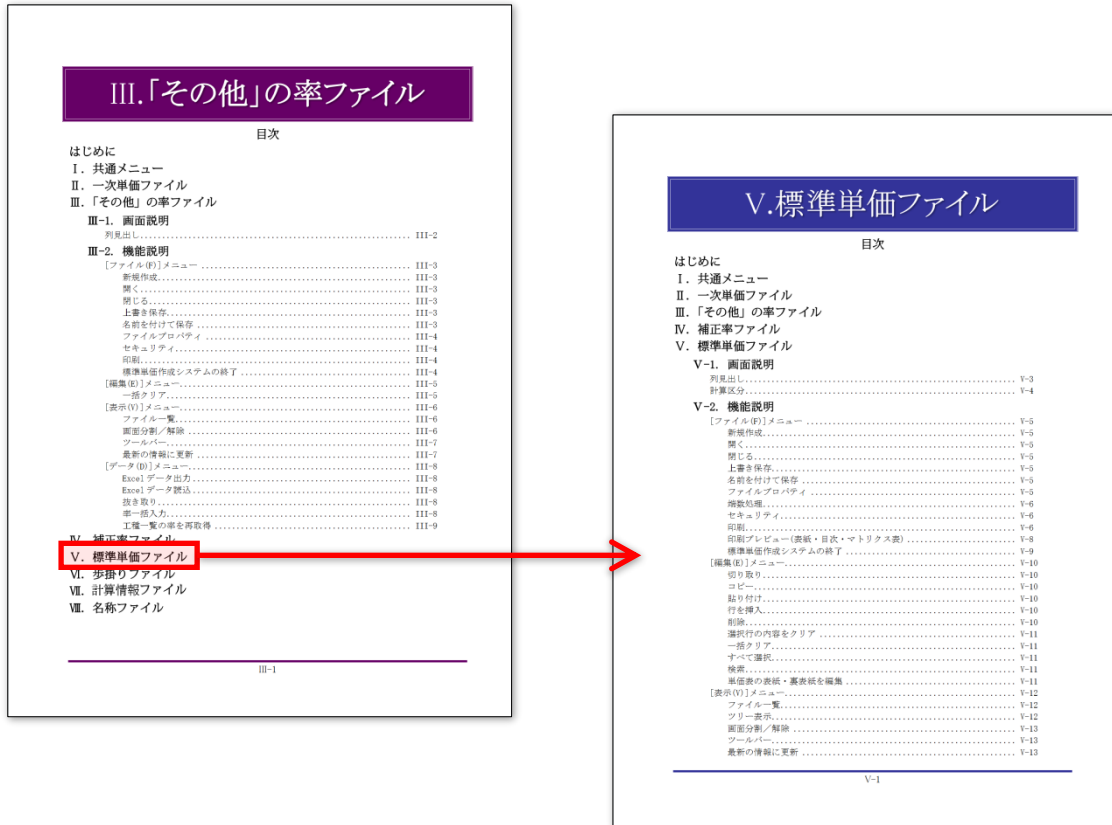
標準単価作成システムで開いているファイルをすべて閉じた状態で、ヘルプメニューからリファレンスマニュアルを表示させます。



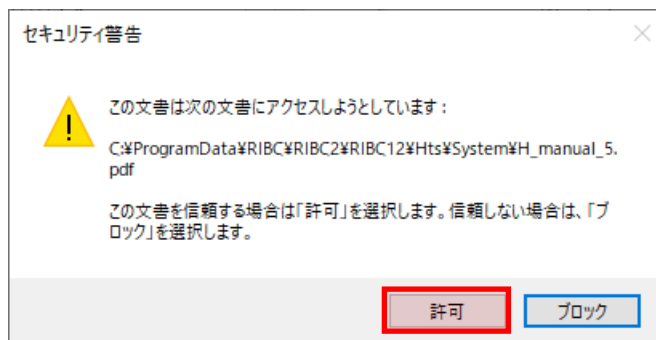


## 他のリファレンスマニュアルに移動する場合

各リファレンスマニュアルの目次のタイトル部分をクリックすると、他のリファレンスマニュアルが開かれます。



《注》他のリファレンスマニュアルが開かれるときに、セキュリティ警告メッセージが表示されますので、[許可] ボタンをクリックします。




## QRコードについて

スマートフォンやタブレット等から各リファレンスマニュアルに記載されている QR コードを読み取ることで、eラーニングのページにアクセスして、説明動画を再生することができます。

前回単価データ読込 ..... II-15  
抜き取り ..... II-16  
率一括入力 ..... II-16  
メンテナンス Excel ファイル出力 ..... II-16

III. 「その他」の率ファイル  
IV. 補正率ファイル  
V. 標準単価ファイル  
VI. 歩掛りファイル  
VII. 計算情報ファイル  
VIII. 名称ファイル

操作説明 (eラーニング)  
標準単価作成システムの操作説明は、下記の eラーニングを参照して  
[http://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](http://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



II-2



# I. 共通メニュー

## 目次

はじめに

### I. 共通メニュー

#### I-1. 機能説明

[オプション(O)]メニュー.....	I-2
システム設定.....	I-2
[ウィンドウ(W)]メニュー.....	I-3
重ねて表示.....	I-3
上下に並べて表示.....	I-3
左右に並べて表示.....	I-3
[ヘルプ(H)]メニュー.....	I-4
お問い合わせ先.....	I-4
ホームページ.....	I-4
官庁営繕関係統一基準・技術基準.....	I-5
リファレンスマニュアル.....	I-5
eラーニング.....	I-5
起動パスワードを変更する場合(eラーニング).....	I-5
パソコンの機種変更を行う場合(eラーニング).....	I-6
ライセンスユーザー情報.....	I-6
バージョン情報.....	I-6
[ツール(T)]メニュー.....	I-7
連続単価計算.....	I-7
名称保守.....	I-7
多地区単価印刷.....	I-8
[★更新プログラムがあります...(U)]メニュー.....	I-9
最新版のアップデート.....	I-9

#### II. 一次単価ファイル

#### III. 「その他」の率ファイル

#### IV. 補正率ファイル

#### V. 標準単価ファイル

#### VI. 歩掛りファイル

#### VII. 計算情報ファイル

#### VIII. 名称ファイル

### 操作説明 (eラーニング)

標準単価作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



## I-1.機能説明

### [オプション(O)]メニュー

#### システム設定



Ctrl + M  
Alt + O + S

システム設定画面には、新規に作成するファイルの初期値や、既存のファイルを開いたときの動作などを設定することができます。

#### 1. 初期設定

##### a. 既定のファイルの場所

単価計算の作業で参照する  歩掛りファイルや  標準単価ファイルの保存先フォルダをパソコンに記憶させることができます。

※選択したフォルダを消去して [未設定] に戻すときは、既定のファイルの場所ボックスの文字列を削除します。

##### b. バックアップを作成する

標準単価作成システムで参照する各ファイルのバックアップファイルを作成することができます。

[バックアップファイルを作成する] を選択すると、ファイルを保存したときに自動的にバックアップファイルが作成されます。

##### c. システム起動時に、更新プログラムの有無を確認する

「最新版のアップデート」画面を表示し、バージョンアップを行うかを設定できます。

#### 2. システムファイル

##### a. システムファイル参照フォルダ

Windows のネットワークを使って、システムファイルを複数のパソコンで共有することができます。

共有できる情報は以下のとおりです。

- ・公開情報設定
- ・端数処理設定

#### 3. 端数処理（初期値）

一次単価ファイルや標準単価ファイルの端数処理のシステム設定値を確認したり、編集したりすることができます。

※端数処理のデフォルト設定は、「公共建築工事積算基準等資料」および「工事費積算における数値の取扱い（例）（国土交通省作成）」に準じています。

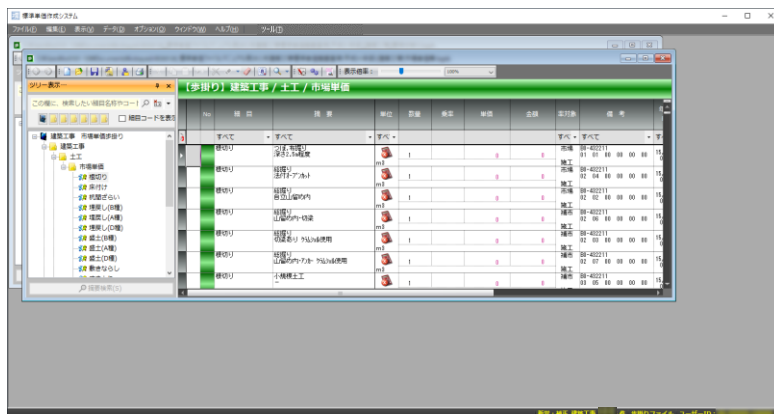
## [ウィンドウ(W)]メニュー

### 重ねて表示



Alt + W + C

複数のファイルを重ねて表示します。



### 上下に並べて表示



Alt + W + V

複数のファイルを上下に並べて表示します。

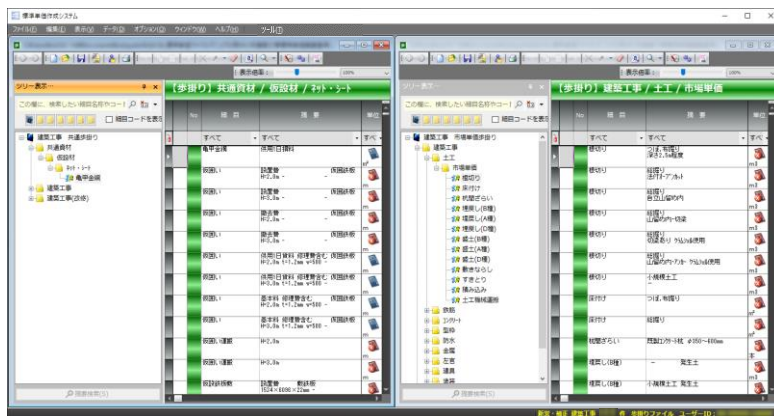


### 左右に並べて表示



Alt + W + H

複数のファイルを左右に並べて表示します。



## [ヘルプ(H)]メニュー

### お問い合わせ先



Alt + H + C

#### ■ ヘルプデスク (システムの内容、操作方法についてのお問い合わせ)

9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土日祝祭日、指定の休業日を除く)

TEL 03-5425-2518

E-Mail [ribchelp@ribc.or.jp](mailto:ribchelp@ribc.or.jp)

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 技術専門員

#### ■ 契約窓口 (お申込み、契約等についてのお問い合わせ)

9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土日祝祭日、指定の休業日を除く)

- ・ 都道府県、政令指定都市、国土交通省 (協議会ユーザー)

TEL 03-6453-0857

- ・ その他の公共発注機関 (公共機関ユーザー)

TEL 03-3434-3715

- ・ 設計・積算事務所等 (一般ユーザー)

TEL 03-3434-3290

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 システム部

### ホームページ



Alt + H + H

#### ■ コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

## 官庁営繕関係統一基準・技術基準



Alt + H + P

国の統一基準類を閲覧できるページが表示されます。

官庁関係統一基準		PDF	Web
公共建築工事積算基準(平成26年改定)	第1編 総則 (表3-1-1 建築工事 表3-1-2 電気設備工事 表3-1-3 機械設備工事)	PDF	Web
公共建築工事標準単価積算基準(令和5年改定)	第2編 建築工事 第3編 電気設備工事 第4編 機械設備工事 第5編 昇降機設備工事	PDF	Web
公共建築数量積算基準(令和5年改定)	第1編 総則	PDF	Web
公共建築設備数量積算基準(令和5年改定)	第2編 共通事項 第3編 電気設備工事 第4編 機械設備工事	PDF	Web
公共建築工事共通費積算基準(令和5年改定)		PDF	Web
公共建築工事内訳書標準書式	公共建築工事内訳書標準書式 建築工事編(令和5年改定) 3-1 建築工事内訳書標準書式 3-2 建築改修工事内訳書標準書式	PDF	Web
公共建築工事内訳書標準書式	公共建築工事内訳書標準書式 設備工事編(令和5年改定) (1) 電気設備工事内訳書標準書式 (2) 機械設備工事内訳書標準書式 (3) 昇降機設備工事内訳書標準書式	PDF	Web
公共建築工事見積標準書式	公共建築工事見積標準書式 建築工事編(令和5年改定) 第4章 機械設備工事	PDF	Web
公共建築工事標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版	PDF	Web
公共建築改修工事標準仕様書	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版	PDF	Web

## リファレンスマニュアル



Alt + H + M

表示しているファイルに関するリファレンスマニュアルが表示されます。

## eラーニング



Alt + H + L

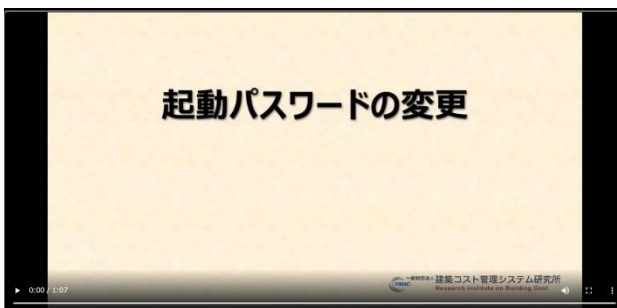
■ コスト研ホームページ (eラーニング) URL

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)

## 起動パスワードを変更する場合(eラーニング)

Alt + H + X

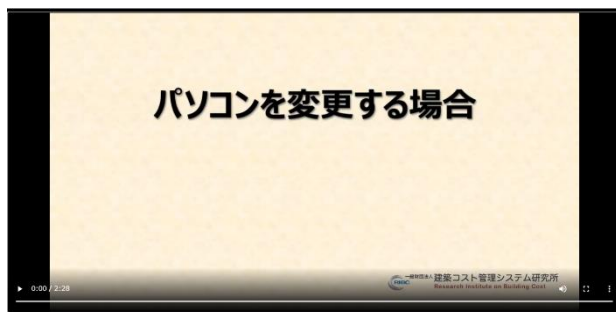
起動パスワードを変更する場合の操作方法を確認できる動画が表示されます。



## パソコンの機種変更を行う場合(eラーニング)

Alt + H + Y

パソコンの機種変更を行う場合の操作方法が確認できる動画が表示されます。



## ライセンスユーザー情報



Alt + H + U

ライセンス認証のユーザー情報を確認できます。

ライセンスユーザー情報

担当者氏名:

電話番号:  内線番号:

E-MAIL:

閉じる(C)

## バージョン情報



Alt + H + A





## [ツール(T)]メニュー

### 連続単価計算



Alt + T + C

下記の単価計算を連続して行う場合等に利用することができます。

- ・新営単価と改修単価
- ・県別単価やブロック別単価
- ・週休2日促進工事の補正単価

連続計算に使用したファイルの名前や端数処理の設定は [連続単価計算設定ファイル] (Excel ファイル) に保存され、記録として残すことができます。

また、このファイルを参照して単価計算を行うこともできます。

### 名称保守



Alt + T + M

名称ファイルを編集する画面が表示されます。

# 多地区単価印刷



Alt + T + T

多地区単価の印刷を実行すると、最大 10 地区の項目を一頁に並べて印刷することができます。

多地区設定

ファイル種別選択  
 標準単価  一次単価

多地区印刷を行うファイル名を設定し、地区名を入力してください。

1	北海道	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(北海道地区).hfb	参照	クリア
2	東北	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(東北地区).hfb	参照	クリア
3	関東	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(関東地区).hfb	参照	クリア
4	北陸	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(北陸地区).hfb	参照	クリア
5	中部	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(中部地区).hfb	参照	クリア
6	近畿	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(近畿地区).hfb	参照	クリア
7	中国	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(中国地区).hfb	参照	クリア
8	四国	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(四国地区).hfb	参照	クリア
9	九州	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(九州地区).hfb	参照	クリア
10	沖縄	C:\RIBC2\DATA\標準単価\建築工事標準単価(沖縄地区).hfb	参照	クリア

印刷物  
 目次リスト  多地区単価表

印刷オプション  
 連年  経年比較

金額抜き  ページ抜き  刊行物単価を含む単価を墨塗りする

## 印刷イメージ

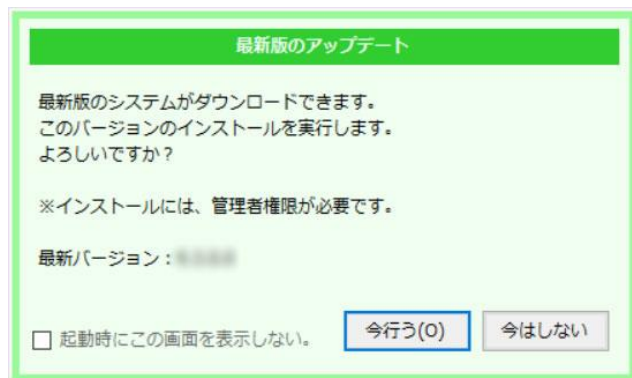
建築工事/仮設/共通仮設/仮囲い・仮設鉄板・運搬														
種目	種	単位	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	備考	
仮囲い	供用1日資料 修理費含む 仮囲鉄板 #2 On t=1, Zn w=500	m	5	6	7	5	8	8	6	5	7	5	80-131412 04 01 01 01 00 00	
仮囲い	供用1日資料 修理費含む 仮囲鉄板 #3 On t=1, Zn w=500	m	6	7	9	6	7	7	7	6	7	7	80-131412 04 01 02 01 00 00	
仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 #2 On t=1, Zn w=500	m	280	280	280	270	280	280	270	270	280	280	80-131412 05 01 01 01 00 00	
仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 #3 On t=1, Zn w=500	m	370	370	370	370	370	370	360	360	380	370	80-131412 05 01 02 01 00 00	
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 3ヵ月以下	㎡	5	5	7	5	7	6	6	5	7	5	80-131431 04 01 01 05 00 00	
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 6ヵ月以下	㎡	4	5	7	5	5	7	6	4	7	5	80-131431 04 01 01 01 00 00	
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 12ヵ月以下	㎡	5	5	8	5	5	7	5	5	8	5	80-131431 04 01 01 02 00 00	
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 24ヵ月以下	㎡	5	4	6	4	6	6	5	4	6	4	80-131431 04 01 01 03 00 00	
仮設鉄板敷	敷鉄板 敷鉄板 1524×6096×22mm	㎡	110	110	120	100	110	120	110	110	120	110	80-131431 05 01 01 01 00 00	
建築工事/仮設/直接仮設/足場														
地足場	供用1日資料 修理費含む	㎡	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	80-131516 05 00 00 00 00 00	
地足場	基本料 修理費含む	㎡	92	92	92	92	92	92	92	92	92	92	80-131516 06 00 00 00 00 00	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 600×1700 布枠500×1枚 供用1日資料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80-131519 02 03 05 02 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	80-131519 02 03 06 02 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 900×1700 布枠500×240 供用1日資料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	80-131519 03 06 05 02 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 900×1700 布枠500×240 基本料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	80-131519 03 06 05 03 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 900×1700 布枠500×240 供用1日資料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	80-131519 03 06 05 04 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 900×1700 布枠500×240 基本料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	390	390	390	390	390	390	390	390	390	390	80-131519 03 06 06 02 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 900×1700 布枠500×240 基本料 修理費含む 22ヵ月未満	㎡	380	380	380	380	380	380	380	380	380	380	80-131519 03 06 06 03 01 01	
枠組本足場 (半すり先行方式)	縦枠 900×1700 布枠500×240 基本料 修理費含む 22ヵ月以上	㎡	380	380	380	380	380	380	380	380	380	380	80-131519 03 06 06 04 01 01	

## [★更新プログラムがあります...(U)]メニュー

### 最新版のアップデート

Alt + U

このメニューが表示されている場合、当研究所のホームページから最新の標準単価作成システムを取得することができます。メニューをクリックすると、以下の画面が表示されます。



※画面左下の[起動時にこの画面を表示しない]にチェックをすると表示されなくなります。再度表示させたい場合は、[オプション]メニューから[システム設定]-[初期設定]タブから設定できます。



# II. 一次単価ファイル

## 目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 一次単価ファイル

II-1. 画面説明

列見出し.....	II-4
労材区分.....	II-4
入力区分.....	II-5

II-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....	II-7
新規作成.....	II-7
開く.....	II-7
閉じる.....	II-7
上書き保存.....	II-7
名前を付けて保存.....	II-7
ファイルプロパティ.....	II-8
端数処理.....	II-8
セキュリティ.....	II-8
印刷.....	II-9
標準単価作成システムの終了.....	II-9
[編集(E)]メニュー.....	II-10
切り取り.....	II-10
コピー.....	II-10
貼り付け.....	II-10
行を挿入.....	II-10
削除.....	II-10
選択行の内容をクリア.....	II-10
一括クリア.....	II-11
すべて選択.....	II-11
採用単価選択.....	II-11
検索.....	II-11
[表示(V)]メニュー.....	II-12
ファイル一覧.....	II-12
ツリー表示.....	II-12
画面分割／解除.....	II-13
ツールバー.....	II-13
最新の情報に更新.....	II-14
[データ(D)]メニュー.....	II-15
材料一次単価データ・市場単価データ読込.....	II-15
Excel データ出力.....	II-15
Excel データ読込.....	II-15
前回単価データ読込.....	II-15

抜き取り.....	II-16
率一括入力.....	II-16
メンテナンス Excel ファイル出力.....	II-16

### Ⅲ. 「その他」の率ファイル

#### Ⅳ. 補正率ファイル

#### Ⅴ. 標準単価ファイル

#### Ⅵ. 歩掛りファイル

#### Ⅶ. 計算情報ファイル

#### Ⅷ. 名称ファイル

### 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記の eラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



# II-1.画面説明



The screenshot shows a detailed table of unit prices and their adjustments. The table has the following columns:

項目	品名	単位	決定単価	単価	補正率	労材区分	備考	年月日	入力区分	Up率	前回決定単価	単価増減	前回補正率	歩掛り	区分
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

## 列見出し

一次単価画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名 称		説 明
①	単 位	単位セルの上段に [標準品] または [オプション] が表示されている行は、材料一次単価データまたは市場単価データの単価であることを示します。 ※両誌を比較して読み込みを行った場合で、両誌の単価提供区分が異なったときは [標?オ?] を表示します。
②	決 定 単 価	単価×補正率が表示されます。
③	単 価	キーボードから手入力した単価、または外部媒体から取り込んだ単価が表示されます。
④	補 正 率	単価に割増しまたは低減を行う場合にキーボードから手入力します。
⑤	労 材 区 分	単価の種類を示します。
⑥	備 考	上段：細目名称のコード番号。 中段：摘要名称のコード番号。 下段：メモ欄。 メモ欄をクリックして [F2] キーを押すと、全角で 10 文字まで入力することができます。
⑦	年 月 日 時 分	最後に編集が行われた日時が表示されます。
⑧	入 力 区 分	単価の出典根拠を表示します。
⑨	単 価 出 典 根 拠	見出しの背景色が赤色（左側）と黒色（右側）の 2 組が並んでいます。 材料単価データまたは市場単価データから取り込んだ情報が表示されます。 背景色が色付きのセルは採用された単価であることを示します。
⑩	U p 率	単価増減÷決定単価の計算結果を%で表示します。
⑪	前回決定単価 単 価 増 減 前回補正率	前回単価データ読込機能で読み込んだ一次単価ファイルの [決定単価] と [補正率] を表示し、合わせて増減値を表示します。 ※指定したファイルに同じ単価コードの単価がなかった場合は、 [-----] で表示します。
⑫	歩 掛 り 区 分	表示の単価がどの歩掛りで使用されるかをチェックマークで表示します。

## 労材区分

施工	複合単価
合成	他の単価と組み合わせて使う単価
材料	材料単価
労務	労務単価
材工	市場単価



## 入力区分





### a) 材料単価データまたは市場単価データから取り込んだ単価

材料単価データまたは市場単価データから取り込んだ単価には、以下のアイコンが表示されます。

	建設物価
	積算資料
	積算資料別冊
	建設物価と積算資料の平均
	建設物価と積算資料別冊の平均
	建設物価と建築施工単価の平均
	建設物価と特別調査（右列）の平均〔建設物価と経調特別調査の平均〕
	特別調査（左列）と特別調査（右列）の平均〔物調特別調査と経調特別調査の平均〕
	特別調査（左列）と積算資料の平均〔物調特別調査と積算資料の平均〕
	特別調査（左列）と積算資料別冊の平均〔物調特別調査と積算資料別冊の平均〕
	建築コスト情報
	建築施工単価
	建築コスト情報と建築施工単価の平均
	建築コスト情報と特別調査（右列）の平均〔建築コスト情報と経調特別調査の平均〕
	物調特別調査と建築施工単価の平均
	土木コスト情報
	土木施工単価
	土木コスト情報と土木施工単価の平均
	Web 建設物価
	Web 建設物価と積算資料の平均
	Web 建設物価と積算資料別冊の平均
	Web 建設物価と建築施工単価の平均
	Web 建設物価と特別調査（右列）の平均〔Web 建設物価と経調特別調査の平均〕
	特別調査（右列）〔物調〕
	特別調査（左列）〔経調〕
	損料算定表
	指示単価

### b)上記 a)以外の単価

上記 a) 以外の単価には、以下のアイコンが表示されます。

	CSV 入力	CSV ファイルから取り込まれた単価。
	Excel 入力	[Excel ファイル出力] 機能で作成した Excel ファイルから取り込まれた単価。
	キーボード	手入力した単価
	未入力	単価が入力されていないことを示します。

## II-2.機能説明

### [ファイル(F)]メニュー

#### 新規作成

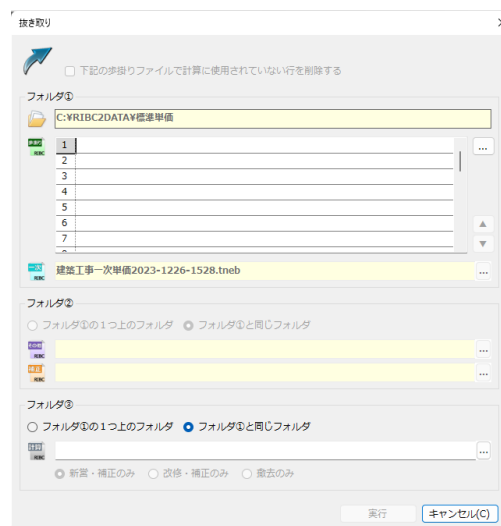


Ctrl + N

Alt + F + N

新規作成するファイルを選択します。

一次単価ファイルを作成すると、抜き取り画面が表示されます。



#### 開く



Ctrl + O

Alt + F + O

標準単価作成システムで使用するファイルを開きます。



#### 閉じる



Ctrl + W

Alt + F + C

一次単価ファイルを閉じます。



#### 上書き保存



Ctrl + S

Alt + F + S

一次単価ファイルを上書き保存します。



#### 名前を付けて保存

F12

Alt + F + A


一次単価ファイルに名前を付けて保存します。



## ファイルプロパティ



Ctrl + B  
Alt + F + B

 一次単価ファイルの情報を表示します。


必要に応じ [タイトル] ボックスと [サブタイトル] ボックスに入力します。

[タイトル] ボックスに入力した文字等は、印刷リストのヘッダー部分やツリー画面のルート部分に表示されます。

## 端数処理



Alt + F + H

 一次単価ファイル毎に、以下の設定を行います。

- **材料一次単価データまたは市場単価データ読み込み時の端数処理**

A社とB社の単価が端数処理設定に従って加工されます。

- **決定単価欄の端数処理**

補正率欄に1.0以外の値を入力した場合、決定単価欄に端数処理が行われます。

※端数処理のデフォルト設定は、「公共建築工事積算基準等資料」および「工事費積算における数値の取扱い（例）（国土交通省作成）」に準じています。

## セキュリティ



Alt + F + E

セキュリティ設定の情報は個々のデータファイルに登録され、当該のデータファイルを作成したユーザーに限って設定を変更することができます。

※公開情報の設定を変更できるファイルを受領した場合を除きます。

セキュリティの設定は以下のいずれかを選択することができます。

- **すべて** 提供先でもすべてのデータが表示されます。
- **0円クリア** 提供先では単価、金額、補正率の各欄はゼロで表示されます。

セキュリティ設定は、提供先によって、異なる設定にすることができます。

また、提供先の公共機関や設計・積算事務所のユーザーIDが分かっている場合は、個々の団体ごとに異なる設定を登録することもできます。

※提供先のユーザー名をすべて削除すると、他のユーザーではファイルが開かなくなります。

## 印刷

Ctrl + P  
Alt + F + P

一次単価リスト、経年比較リスト、材料単価情報リスト、ツリーリストを印刷します。



- **一次単価リスト** 決定単価、単価、補正率、労材区分、入力区分、歩掛り区分が印刷されます。
- **経年比較リスト** 決定単価と単価欄は、今回／前回／UP 率の3段で印刷されます。  
前回単価が登録されていない単価は、前回単価欄および Up 率欄を [-----] で印刷します。
- **材料単価情報リスト** 材料単価データや市場単価データの単価、出典根拠が印刷され、単位欄の上段には、単価提供区分が印刷されます。  
また、[材料一次単価データ／市場単価データ読込] の単価を手入力で修正した項目については、単価提供区分や出典根拠等の各欄の値に取り消し線が印刷されます。
- **ツリーリスト** ツリー画面が印刷されます。

## 標準単価作成システムの終了



Alt + F + X

標準単価作成システムを終了します。



## [編集(E)]メニュー

## 切り取り

Ctrl + X  
Alt + E + T

選択した行を切り取ります。

例：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の  一次単価ファイルに挿入する時に使用します。

## コピー

Ctrl + C  
Alt + E + C

セルまたは選択した行をコピーします。

例：コピー&行挿入で、コピーした行を別の  一次単価ファイルに挿入する時に使用します。

## 貼り付け

Ctrl + V  
Alt + E + P


コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

※貼り付けできるセル：単価、補正率、備考

## 行を挿入



Alt + E + I

別の  一次単価ファイルでコピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。

## 削除

Del  
Alt + E + D

選択した行を削除クリアします。



## 選択行の内容をクリア



Alt + E + R

選択した行の単価欄または備考欄（メモ欄）をクリアします。

単価欄を選択した場合は、

- ・単価欄と出典根拠欄をクリアし、入力区分に （未入力）を設定します。
- ・単価欄をクリアし、入力区分欄に （手入力）を設定します。

また、出典根拠欄の背景色をクリアし、単価欄の単価提供区分、単価、出典根拠の各欄に取り消し線を設定します。

▶ 備考欄

Alt+E+R+0

▶ 単価欄

Alt+E+R+1

## 一括クリア



Alt + E + N

ファイル内の単価欄を一括操作でゼロクリアします。



## すべて選択

Ctrl + A  
Alt + E + A

すべての行を選択します。



## 採用単価選択



Alt + E + Q

材料一次単価データ／市場単価データの読み込み後に、入力区分を手動で切り換えることができます。



なお、両誌の単価が同一であった場合も採用単価選択画面でどちらか一方の価格を採用するか選択することができます。

※採用単価選択画面は、入力区分欄で [Enter] キーを押す、右クリックする、またはダブルクリックしても表示させることができます。

## 検索



Alt + E + F



### ▶ 摘要名称検索



Alt+E+F+T

選択した単価行と細目名称が一致する、他の摘要名称の単価行を検索します。

### ▶ 歩掛り検索



Alt+E+F+B

選択した歩掛りを引用している歩掛りを検索します。

## [表示(V)]メニュー

### ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている標準単価作成システムのファイル一覧を表示します。



▶ 右側にタブ表示

Alt+V+F+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+F+L

▶ 右側にファイル一覧表示

Alt+V+F+E

▶ 左側にファイル一覧表示

Alt+V+F+W

### ツリー表示



Alt + V + T

単価や歩掛りの名称をフォルダに分類して階層表示します。



▶ 右側にタブ表示

Alt+V+T+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+T+L

▶ 右側にツリー表示

Alt+V+T+E

▶ 左側にツリー表示

Alt+V+T+W

▶ ファイルを左右に並べて表示している時は非表示

Alt+V+T+J

### ファイル一覧…左側にタブ表示 ツリー表示…右側にツリー表示

The screenshot displays the 'File List' view of the software. The main window is titled '【一次単価】共通資材 / 鋼材 (市中価格) / 棒鋼・丸鋼'. The table below shows a list of materials with columns for item name, unit, unit price, and other details.

品目	概要	単位	決定単価	単価	補正率	材料区分	備考	年月日 時分	入力 時分	単価	出典情報
すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて
棒鋼(丸鋼)用 真形棒鋼	D18 S4112 S0295A D18 少量	標準品	70,000	70,000	1	材料	01 01 01 00 00 00	20/01/24 10:55		71,000	建設物価 東京
棒鋼(丸鋼)用 真形棒鋼	J18 S4112 S0295A D18 少量	標準品	68,000	68,000	1	材料	01 01 02 00 00 00	20/01/24 10:55		69,000	建設物価 東京
丸鋼(付軽鋼用形鋼)	63×30×18×2.3 SSC400相当品	kg	97	97	1	材料	00-215316 02 01 00 00 00 00	20/01/24 10:55		100	建設物価 東京
丸鋼(付軽鋼用形鋼)	75×45×15×2.3 SSC400相当品	kg	96	96	1	材料	00-215318 04 01 00 00 00 00	20/01/24 10:55		98	建設物価 東京
六角棒	WJ8 淨重6.2-	kg	3.3	3.3	1	材料	00-215414 02 00 00 00 00 00	20/01/24 10:55			
なまし鉄線	#10 径3.2mm	kg	131	131	1	材料	00-111022 02 00 00 00 00 00	20/01/24 10:55		139	建設物価 東京
鉄線	#21 径3.9mm	kg	0	0	1	材料	00-111024 01 00 00 00 00 00	20/01/24 10:55			
電線	径0.7 鋼目16 基礎用線	標準品	194	194	1	材料	00-116311 07 01 00 00 00 00	20/01/24 10:55		194	標準調査 関東
丸鋼	平型S100	標準品	120	120	1	材料	00-215608 02 00 00 00 00 00	20/01/24 10:55		140	建設物価 東京
鉄丸くぎ	N40 #11 長さ45	標準品	151	151	1	材料	00-214811 02 00 00 00 00 00	20/01/24 10:55		150	建設物価 東京
鉄丸くぎ	N60 #12 長さ50	kg	140	140	1	材料	00-214811 04 00 00 00 00 00	20/01/24 10:55		154.8	建設物価 東京
鉄丸くぎ	#18×25mm 2.5φ	kg	295	295	1	材料	00-214841 01 01 00 00 00 00	20/01/24 10:55		200	建設物価 関東

The right-hand pane shows a tree view of the material categories, including '共通資材', '鋼材 (市中価格)', and '棒鋼・丸鋼'. The tree view is expanded to show sub-categories like '丸鋼(付軽鋼用形鋼)' and '六角棒'.



## 画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。



## ▶ 画面分割

Alt+V+V+P

## ▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D



## ツールバー



Alt + V + B

## ▶ ファイル

Alt+V+B+F



## ▶ 編集

Alt+V+B+E



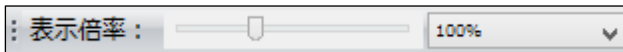
## ▶ データ

Alt+V+B+D



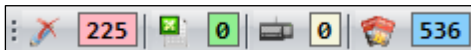
## ▶ 表示倍率

Alt+V+B+Z



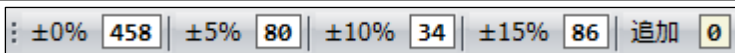
## ▶ 入力区分

Alt+V+B+T



## ▶ Up 率

Alt+V+B+R




## 最新の情報に更新




F5

Alt + V + R

 一次単価ファイルと  名称ファイルを同時に編集している時に、

 名称ファイルで編集した名称・摘要・単位等の最新の情報を、一次単価画面に反映します。

※  一次単価ファイルを一度閉じて、システムを再起動する方法でも名称ファイルの最新の情報を、一次単価画面に反映させることができます。

## [データ(D)]メニュー

### 材料一次単価データ・市場単価データ読込



Alt + D + Z

物価調査機関の材料一次単価データと市場単価データ（以下、単価データと表記）の単価を読み込む機能です。

単価読み込みを行うと、[決定単価] 欄と [入力区分]、[単価]、[出典根拠]（背景色が赤色と黒色）欄が更新されます。

また、単位欄の上段に単価提供区分（[標準品] または [オプション]）が表示されます。

※両誌を比較して読み込みを行った場合に単価提供区分が異なったときは [標?オ?] を表示します。

### Excel データ出力



Alt + D + O

一次単価ファイルのデータを Excel ファイルに出力する機能です。

※一部、制限付きで出力される行があります。

- ・材料一次単価・市場単価データの決定単価欄は 0 円で出力されます。
- ・物価調査機関の単価は \* で出力されます。
- ・単価欄がゼロのときは、Excel シートの単価欄に単価を出力しません。（補正率欄も同様の処理を行います。）

### Excel データ読込



Alt + D + I

一次単価ファイルに Excel データ出力をした Excel ファイルの単価欄、補正率欄、備考欄を読み込む機能です。Excel ファイルを選択し、開くとワークシート選択画面が表示され、チェックを付けたシートが読み込まれます。

※Excel シートの [単価] 欄がゼロの欄は読み込みを行いません。

### 前回単価データ読込



Alt + D + T

前回の計算に使用した一次単価ファイルから、単価コードが一致した単価を読み込みます。


処理が終了すると、[前回決定単価] [前回補正率] [Up 率] [単価増減] の各欄を更新します。


前回単価ファイルに単価が登録されていなかった行は、[Up 率] 欄の増減率、[前回決定単価] 欄の単価、[単価増減] 欄に [-----] を表示します。


## 抜き取り





Alt + D + N

指定した  歩掛りファイルから、単価計算に必要な材料単価や労務単価、備考等の項目が

 一次単価ファイルに登録されます。

※計算を行う  歩掛りファイルを差し替えたり、追加したりしたときは、必ず実行します。

単価が登録されている  一次単価ファイルに対して「抜き取り」を実行した場合、すでに登録されている単価は上書きされません。

 一次単価ファイルに登録されていない単価が抜き取られたときは、0円で追加登録され、Up 率欄の増減率、前回決定単価欄の単価、単価増減欄は [-----] で表示されます。

## 率一括入力






Alt + D + R

任意の複数行を指定して、補正率欄を一括入力します。

## メンテナンス Excel ファイル出力



Alt + D + X

前回の計算に使用した  一次単価ファイルと今回の計算に使用する  一次単価ファイルを比較して、単価コード読み替え用の  メンテナンス Excel ファイルを出力します。

# III.「その他」の率ファイル

## 目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 一次単価ファイル

III. 「その他」の率ファイル

III-1. 画面説明

列見出し.....III-3

III-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....III-4

新規作成.....III-4

開く.....III-4

閉じる.....III-4

上書き保存.....III-4

名前を付けて保存.....III-4

ファイルプロパティ.....III-5

セキュリティ.....III-5

印刷.....III-5

標準単価作成システムの終了.....III-5

[編集(E)]メニュー.....III-6

一括クリア.....III-6

[表示(V)]メニュー.....III-7

ファイル一覧.....III-7

画面分割／解除.....III-7

ツールバー.....III-8

最新の情報に更新.....III-8

[データ(D)]メニュー.....III-9

Excel データ出力.....III-9

Excel データ読込.....III-9

抜き取り.....III-9

率一括入力.....III-9

工種一覧の率を再取得.....III-10

IV. 補正率ファイル

V. 標準単価ファイル

VI. 歩掛りファイル

VII. 計算情報ファイル

VIII. 名称ファイル

## 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



## III-1.画面説明



## 列見出し

「その他」の率画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
①	工種名称の出典が表示されます。
② 工 種	歩掛りファイルから転記された工種が表示されます。 アイコンは営繕工事、 アイコンは住宅工事を示します。
③ 下 限 値 中 間 値 上 限 値 ユ ー ザ ー 値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  共通歩掛りファイルから抜き取りを行った場合、[工種] 見出しの上部に出典が表示され、「その他」の率の下限値・中間値・上限値の率が参考値として表示されます。</li> <li>●  独自歩掛りファイルから抜き取られた工種には、下限値・中間値・上限値の率は表示されません。ユーザー値欄に率を入力します。</li> </ul>
④ 細 目	歩掛りファイル一覧画面の細目名称のうち、歩掛り内訳行に「その他」行が登録されているものが表示されます。表示のみで変更することはできません。
⑤ 率	「その他」の率を表示します。
⑥ 下 中 上 ユ	工種見出し画面で「その他」の率を選択または入力した場合、率欄の根拠（下限値または、中間値、上限値、ユーザー値）が「●」で表示されます。率欄に直接率を入力した場合は、すべて「○」で表示され根拠は表示されません。
⑦ 細 目 コ ー ド	細目欄の名称のコード番号が表示されます。
⑧ 年 月 日 時 分	最後に編集が行われた日時が表示されます。

## Ⅲ-2.機能説明

### [ファイル(F)]メニュー

#### 新規作成

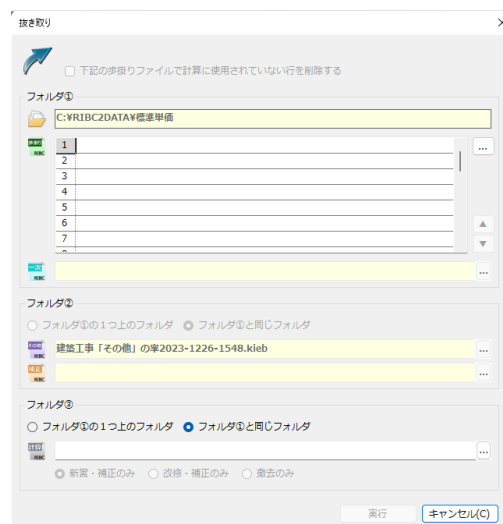


Ctrl + N  
Alt + F + N

新規作成するファイルを選択します。



「その他」の率ファイルを作成すると、抜き取り画面が表示されます。



#### 開く



Ctrl + O  
Alt + F + O

標準単価作成システムで使用するファイルを開きます。



#### 閉じる



Ctrl + W  
Alt + F + C

「その他」の率ファイルを閉じます。



#### 上書き保存



Ctrl + S  
Alt + F + S

「その他」の率ファイルを上書き保存します。



#### 名前を付けて保存



F12  
Alt + F + A

「その他」の率ファイルに名前を付けて保存します。





## ファイルプロパティ

Ctrl + B  
Alt + F + B

「その他」の率ファイルの情報を表示します。

必要に応じ [タイトル] ボックスと [サブタイトル] ボックスに入力します。

[タイトル] ボックスに入力した文字等は、「その他」の率リストや「その他」の率工種リストのヘッダ一部分に表示されます。

## セキュリティ



Alt + F + E

セキュリティ設定の情報は個々のデータファイルに登録され、当該のデータファイルを作成したユーザーに限って設定を変更することができます。

※公開情報の設定を変更できるファイルを受領した場合を除きます。

セキュリティの設定は以下のいずれかを選択することができます。

- ・ **すべて** 提供先でもすべてのデータが表示されます。
- ・ **0円クリア** 提供先では「その他」の率はゼロで表示されます。

セキュリティ設定は、提供先によって、異なる設定にすることができます。

また、提供先の公共機関や設計・積算事務所のユーザーIDが分かっている場合は、個々の団体ごとに異なる設定を登録することもできます。

※提供先のユーザー名をすべて削除すると、他のユーザーではファイルが開かなくなります。

## 印刷

Ctrl + P  
Alt + F + P

「その他」の率リスト、「その他」の率工種リストを印刷します。

- ・ 「その他」の率リスト 工種、細目名称、「その他」の率、採用値、細目コード、更新日が印刷されます。
- ・ 「その他」の率工種リスト 出典、工種、下限値、中間値、上限値、ユーザー設定値が表示されます。

## 標準単価作成システムの終了



Alt + F + X

標準単価作成システムを終了します。



## [編集(E)]メニュー

一括クリア



Alt + E + N

「その他」の率を一括クリアします。



## [表示(V)]メニュー

## ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている標準単価作成システムのファイル一覧を表示します。

その他  
RBC

▶ 右側にタブ表示

Alt+V+F+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+F+L

▶ 右側にファイル一覧表示

Alt+V+F+E

▶ 左側にファイル一覧表示

Alt+V+F+W

## ファイル一覧…左にタブ表示



## 画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。

その他  
RBC


▶ 画面分割

Alt+V+V+P


▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D




**ツールバー**  Alt + V + B


▶ **ファイル** Alt+V+B+F



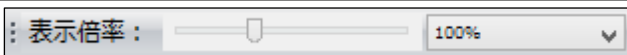
▶ **編集** Alt+V+B+E








▶ **データ** Alt+V+B+D



▶ **表示倍率** Alt+V+B+Z



**最新の情報に更新**  F5  
Alt + V + R

「その他」の率ファイルと  名称ファイルを同時に編集している時に、  
 名称ファイルで編集した名称等の最新の情報を、「その他」の率画面に反映します。  
※  「その他」の率ファイルを一度閉じて、システムを再起動する方法でも  名称ファイルの最新の情報を、「その他」の率画面に反映させることができます。

## [データ(D)]メニュー

### Excel データ出力



Alt + D + O

「その他」の率ファイルの項目を Excel ファイルに出力します。

### Excel データ読込



Alt + D + I

「Excel データ出力」で作成した Excel ファイルの「その他」の率を「その他」の率ファイルの工種一覧、または「その他」の率一覧に読み込みます。Excel ファイルを選択し、開くとワークシート選択画面が表示され、チェックを付けたシートが読み込まれます。

### 抜き取り



Alt + D + N

指定した歩掛りファイルから、単価計算に必要な「その他」の率の項目を、

「その他」の率ファイルに 0% で登録します。

- すでに「その他」の率が登録されている「その他」の率ファイルに対して実行した場合は、存在しない「その他」の率の名称を 0% で追加登録します。
- 既存のファイルに共通歩掛りファイルから抜き取りを行った場合、出典と工種の率（下限値～上限値）を再取得します。

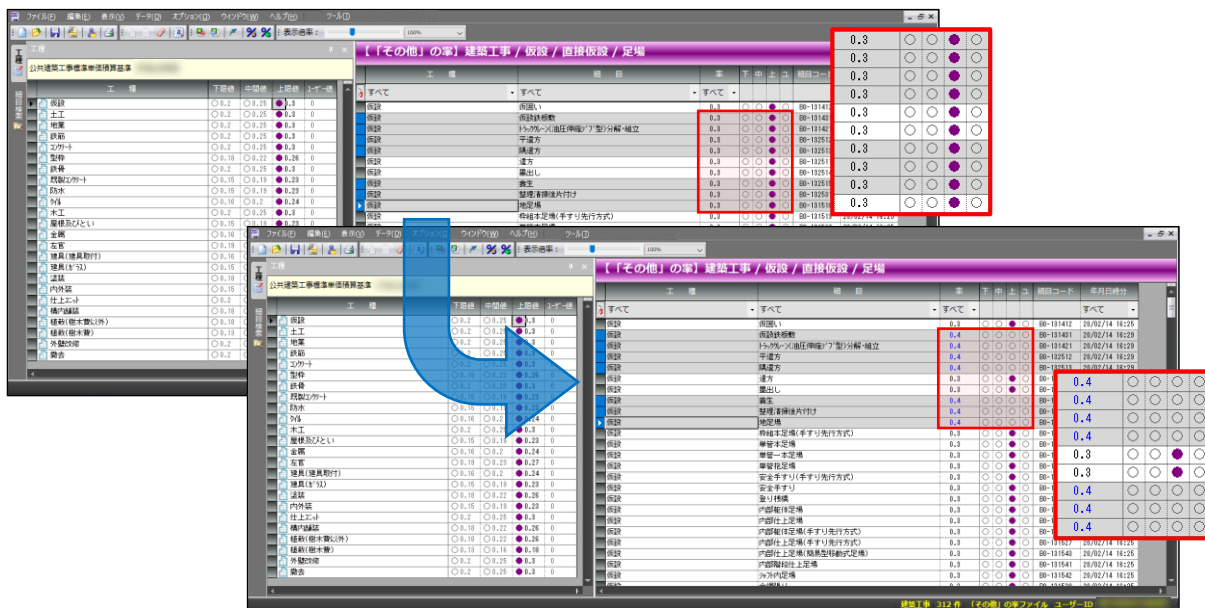
※単価計算を行う歩掛りファイルの差し替えや追加を行ったときは、必ず実行してください。

### 率一括入力



Alt + D + R

選択した行に一括操作で「その他」の率を入力します。



# 工種一覧の率を再取得



Alt + D + K

選択した行の工種名と同じ工種名の率欄に、「その他」の率を設定します。



The image displays two screenshots of the '標準単価作成システム' (Standard Unit Price Creation System) software interface, illustrating the process of updating rates for construction types.

**Top Screenshot:** The window title is '【その他】の率 建築工事 / 地業'. The left pane shows a list of construction types with radio buttons for selecting rates (0.2, 0.25, 0.3). The right pane shows a detailed list of construction types with columns for '工種' (Construction Type), '率' (Rate), and '備考' (Remarks). A red box highlights the '率' column, showing values like 0.3. A blue arrow points from the selected rate in the left pane to the corresponding rate in the right pane.

**Bottom Screenshot:** The window title is '【その他】の率 建築工事 / 地業'. The left pane shows the same list of construction types, but now the '0.2' rate is selected. The right pane shows the updated list, with the '率' column now showing values like 0.2. A blue arrow points from the selected rate in the left pane to the updated rate in the right pane.

# IV.補正率ファイル

## 目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 一次単価ファイル

III. 「その他」の率ファイル

IV. 補正率ファイル

IV-1. 画面説明

列見出し.....IV-3

IV-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....IV-4

新規作成.....IV-4

開く.....IV-4

閉じる.....IV-4

上書き保存.....IV-4

名前を付けて保存.....IV-4

ファイルプロパティ.....IV-5

セキュリティ.....IV-5

印刷.....IV-5

標準単価作成システムの終了.....IV-5

[編集(E)]メニュー.....IV-5

一括クリア.....IV-5

[表示(V)]メニュー.....IV-6

ファイル一覧.....IV-6

画面分割／解除.....IV-6

ツールバー.....IV-7

最新の情報に更新.....IV-7

[データ(D)]メニュー.....IV-8

Excel データ出力.....IV-8

Excel データ読込.....IV-8

抜き取り.....IV-8

率一括入力.....IV-9

工種一覧の率を再取得.....IV-9

V. 標準単価ファイル

VI. 歩掛りファイル

VII. 計算情報ファイル

VIII. 名称ファイル

## 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)









# IV-1.画面説明



## 列見出し

補正率画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
①	工種名称の出典が表示されます。
② 工 種	歩掛りファイルから転記された工種が表示されます。  アイコンは営繕工事、  アイコンは住宅工事を示します。
③ 新 改 ユーザー値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  共通歩掛りファイルから抜き取りを行った場合、[工種] 見出しの上部に出典（公共建築工事標準単価積算基準等資料）が表示され、執務並行改修工事単価を算定する際の労務所要量の補正率および法定福利費相当額を適切に反映するための市場単価等の補正率を参考値として表示されます。</li> <li>●  独自歩掛りファイルから抜き取られた工種には、新営・改修の率は表示されません。[ユーザー値] 欄に率を入力します。</li> </ul>
④ 細 目	歩掛りファイル一覧画面の細目名称のうち、歩掛り内訳行の [率対象] 欄に [☆] [★] が登録されているものが表示されます。
⑤ 率	改修工事の補正率や撤去工事の乗率を入力します。
⑥ 新 改 ユ	工種見出し画面で補正率を選択または入力した場合、率欄の根拠（新営、改修、ユーザー値）が ● で表示されます。率欄に直接率を入力した場合は、すべて ○ で表示され根拠は表示されません。
⑦ 細目コード	細目欄の名称のコード番号です。
⑧ 年月日時分	最後に編集が行われた日時が表示されます。

## IV-2.機能説明

### [ファイル(F)]メニュー

#### 新規作成

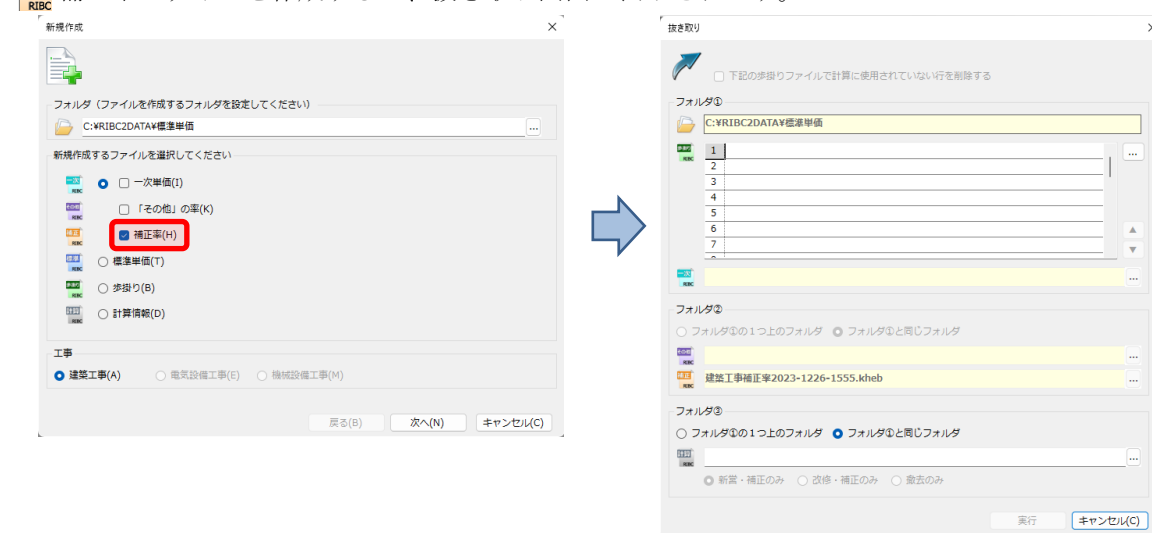


Ctrl + N  
Alt + F + N

新規作成するファイルを選択します。



補正率ファイルを作成すると、抜き取り画面が表示されます。



#### 開く



Ctrl + O  
Alt + F + O

標準単価作成システムで使用するファイルを開きます。



#### 閉じる



Ctrl + W  
Alt + F + C

補正率ファイルを閉じます。

#### 上書き保存



Ctrl + S  
Alt + F + S

補正率ファイルを上書き保存します。

#### 名前を付けて保存


F12  
Alt + F + A

補正率ファイルに名前を付けて保存します。

## ファイルプロパティ



Ctrl + B  
Alt + F + B

 補正率ファイルの情報を表示します。

必要に応じ [タイトル] ボックスと [サブタイトル] ボックスに入力します。

[タイトル] ボックスに入力した文字等は、補正率リストや補正率工種リストのヘッダー部分に表示されます。

## セキュリティ



Alt + F + E

セキュリティ設定の情報は個々のデータファイルに登録され、当該のデータファイルを作成したユーザーに限って設定を変更することができます。

※公開情報の設定を変更できるファイルを受領した場合を除きます。

セキュリティの設定は以下のいずれかを選択することができます。

- ・ **すべて** 提供先でもすべてのデータが表示されます。
- ・ **0円クリア** 提供先では補正率は1.0で表示されます。

セキュリティ設定は、提供先によって、異なる設定にすることができます。

また、提供先の公共機関や設計・積算事務所のユーザーIDが分かっている場合は、個々の団体ごとに異なる設定を登録することもできます。

※提供先のユーザー名をすべて削除すると、他のユーザーではファイルが開かなくなります。

## 印刷



Ctrl + P  
Alt + F + P

補正率リスト、補正率工種リストを印刷します。

- ・ **補正率リスト** 工種、細目名称、率、採用値、細目コード、更新日を印刷します。
- ・ **補正率工種リスト** 出典、工種、新當値、改修値、ユーザー設定値を印刷します。

## 標準単価作成システムの終了



Alt + F + X

標準単価作成システムを終了します。



## [編集(E)]メニュー

### 一括クリア



Alt + E + N

補正率を一括クリアします。



## [表示(V)]メニュー

### ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている標準単価作成システムのファイル一覧を表示します。



▶ 右側にタブ表示

Alt+V+F+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+F+L

▶ 右側にファイル一覧表示

Alt+V+F+E

▶ 左側にファイル一覧表示

Alt+V+F+W

### ファイル一覧…左にタブ表示



### 画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。



▶ 画面分割

Alt+V+V+P

▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D



## ツールバー



Alt + V + B



## ▶ ファイル

Alt+V+B+F



## ▶ 編集

Alt+V+B+E



## ▶ データ

Alt+V+B+D



## ▶ 表示倍率

Alt+V+B+Z






## 最新の情報に更新




F5

Alt + V + R

 補正率ファイルと  名称ファイルを同時に編集している時に、

 名称ファイルで編集した名称等の最新の情報を、補正率画面に反映します。

※  補正率ファイルを一度閉じて、システムを再起動する方法でも名称ファイルの最新の情報を、補正率画面に反映させることができます。

## [データ(D)]メニュー

### Excel データ出力



Alt + D + O




補正率の項目を  Excel ファイルに出力します。



### Excel データ読込





Alt + D + I



「Excel データ出力」で作成した  Excel ファイルの補正率を  補正率ファイルの工種一覧  または補正率一覧に読み込みます。Excel ファイルを選択し、開くとワークシート選択画面が表示され、チェックを付けたシートが読み込まれます。

### 抜き取り



Alt + D + N

指定した  歩掛りファイルの計算に必要な項目を  補正率ファイルに 1.0 で登録します。

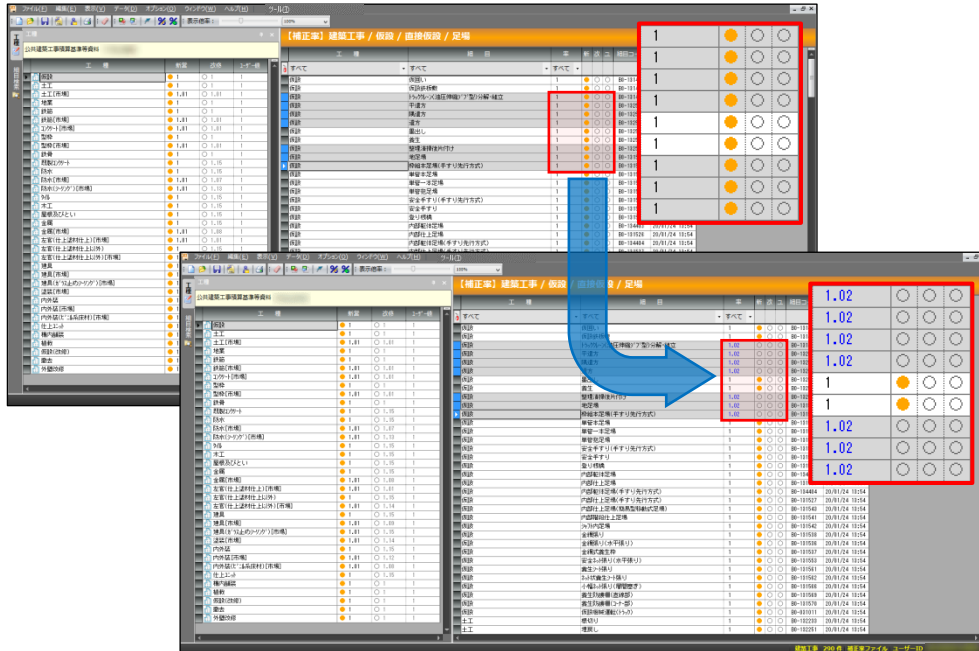
- ・すでに率が登録されている  補正率ファイルに対して実行した場合は、新たに追加となる項目の名称のみを 1.0 で追加登録します。すでに登録されている行は、実行前の率がそのまま残ります。
- ・既存のファイルに  共通歩掛りファイルから抜き取りを行った場合、出典と工種の率（新営、改修）を再取得します。

### 率一括入力



Alt + D + R

選択した行に一括操作で率を入力します。

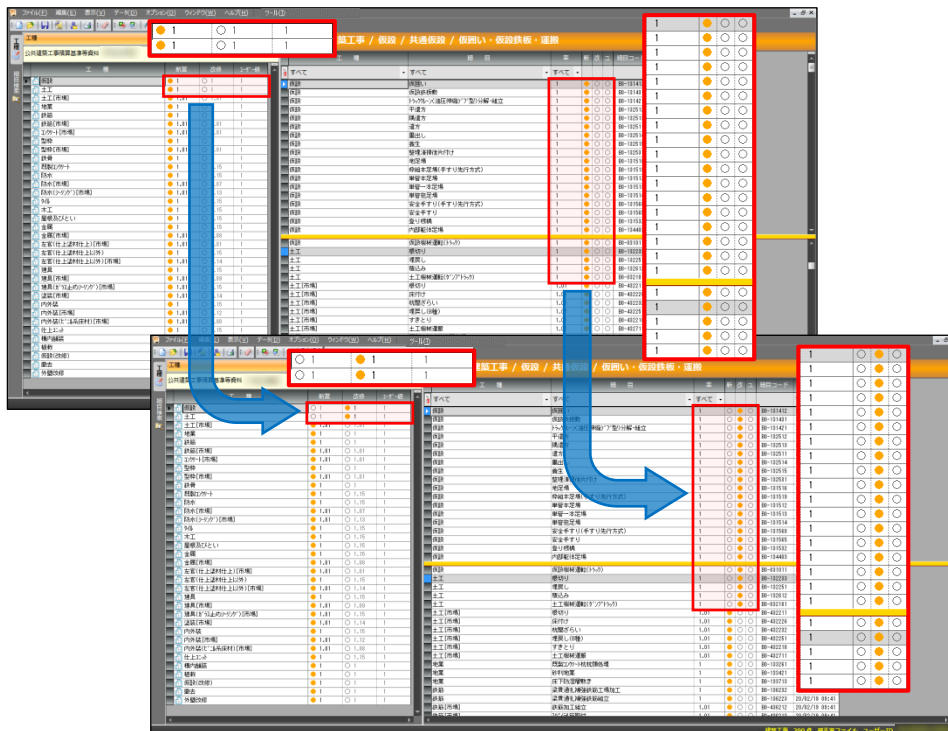


### 工種一覧の率を再取得



Alt + D + K

選択した行の工種名と同じ工種名の率欄に、補正率を設定します。







# V.標準単価ファイル

## 目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 一次単価ファイル

III. 「その他」の率ファイル

IV. 補正率ファイル

V. 標準単価ファイル

### V-1. 画面説明

列見出し.....V-3

計算区分.....V-4

### V-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....V-5

新規作成.....V-5

開く.....V-6

閉じる.....V-6

上書き保存.....V-6

名前を付けて保存.....V-6

ファイルプロパティ.....V-7

端数処理.....V-8

セキュリティ.....V-8

印刷.....V-9

印刷プレビュー(表紙・目次・マトリクス表).....V-11

標準単価作成システムの終了.....V-11

[編集(E)]メニュー.....V-12

切り取り.....V-12

コピー.....V-12

貼り付け.....V-12

行を挿入.....V-12

削除.....V-12

選択行の内容をクリア.....V-12

一括クリア.....V-13

すべて選択.....V-13

検索.....V-13

マトリクス表の表紙・裏表紙を編集.....V-13

[表示(V)]メニュー.....V-14

ファイル一覧.....V-14

ツリー表示.....V-14

画面分割／解除.....V-15

ツールバー.....V-15

最新の情報に更新.....V-15

[データ(D)]メニュー .....	V-16
Excel データ出力.....	V-16
Excel データ読込.....	V-17
前回単価データ読込.....	V-18
単価計算.....	V-18
率一括入力.....	V-18
マトリクス書式設定.....	V-18
名称選択.....	V-18

## VI. 歩掛りファイル

## VII. 計算情報ファイル

## VIII. 名称ファイル

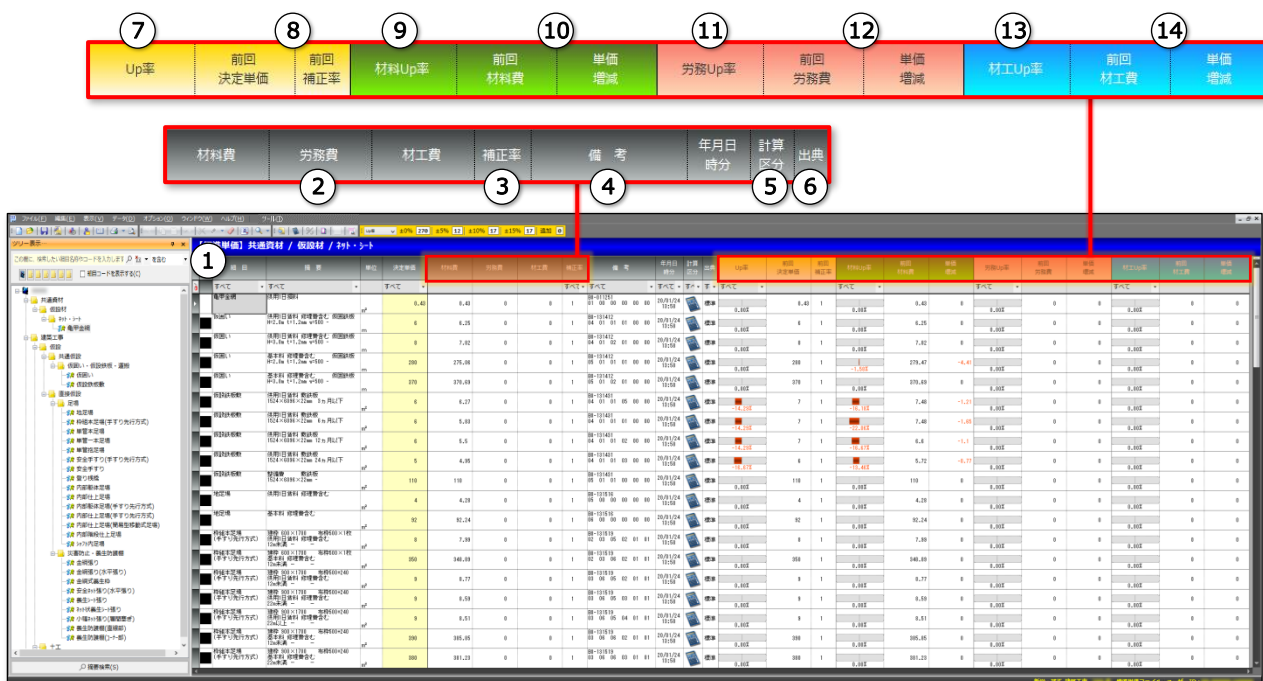
## 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記の e ラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



# V-1.画面説明








## 列見出し

標準単価画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
①	細目列の左に ■アイコンが表示されている単価は、物価資料の掲載価格及び掲載価格等を用いて算定された複合単価等です。 細目列の左に 🗑️アイコンが表示されていて、文字が青色で表示されている行は、マトリクス書式設定に「印刷不要」が設定されていることを示します。
②	材料費 労務費 材工費
③	補正率
④	備考
⑤	計算区分
⑥	出典
⑦	前回Up率

名 称		説 明
⑧	前回決定単価	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの決定単価欄と補正率欄を表示します。
	前回補正率	
⑨	材料 Up 率	単価増減 ÷ 材料費の計算結果を%で表示します。
⑩	前回材料費	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの材料費欄を表示し、合わせて増減値を表示します。
	単 価 増 減	
⑪	労務 Up 率	単価増減 ÷ 労務費の計算結果を%で表示します。
⑫	前回労務費	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの労務費欄を表示し、合わせて増減値を表示します。
	単 価 増 減	
⑬	材工 Up 率	単価増減 ÷ 材工費の計算結果を%で表示します。
⑭	前回材工費	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの材工費欄を表示し、合わせて増減値を表示します。
	単 価 増 減	

## 計算区分

	未計算	単価計算が正常に行われなかった単価。 未計算の原因を確認するときは、決定単価欄をダブルクリックして  歩掛りファイルを開き、歩掛り内訳行の単価、金額欄を確認してください。
	計算	単価計算が正常に行われた単価。
	一次単価	一次単価ファイルから転記された単価。
	キーボード	材料費、労務費、材工費欄のいずれかを手入力した単価。

# V-2.機能説明

## [ファイル(F)]メニュー

### 新規作成



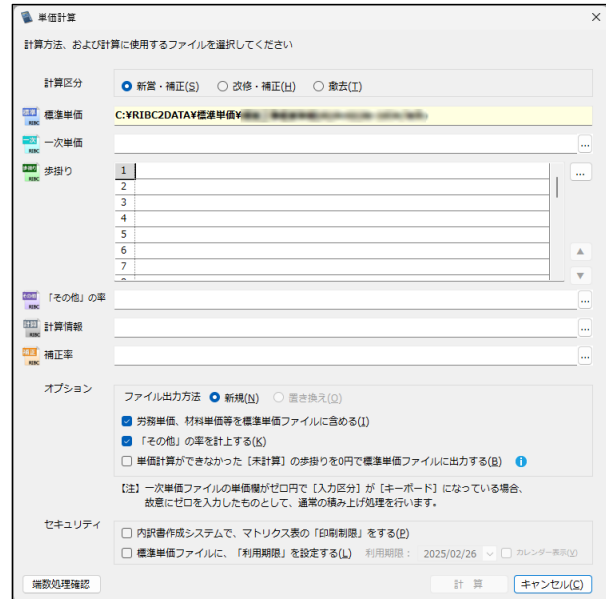
Ctrl + N

Alt + F + N

新規作成するファイルを選択します。



標準単価ファイルを作成すると、単価計算画面が表示されます。



※新規作成画面の次に、公開情報のシステムファイル (System¥RibcUser.ribcsysb) に登録済みのユーザーがある場合は、セキュリティ画面が表示され、ユーザー一覧から貸与したいユーザーを、標準単価ファイルの公開情報に設定することができます。さらに、都道府県ユーザーは、「市区町村」のユーザー一覧も表示され、標準単価ファイルを貸与したい市区町村を設定することができます。



開く



Ctrl + O  
Alt + F + O

標準単価作成システムで使用するファイルを開きます。



閉じる



Ctrl + W  
Alt + F + C

標準単価ファイルを閉じます。

上書き保存



Ctrl + S  
Alt + F + S

標準単価ファイルを上書き保存します。

名前を付けて保存



F12  
Alt + F + A

標準単価ファイルに名前を付けて保存します。

## ファイルプロパティ



Ctrl + B  
Alt + F + B

標準単価ファイルの情報を表示します。

必要に応じ [タイトル] ボックスと [サブタイトル] ボックスに入力します。

タイトルボックスは印刷リストのヘッダー部分やツリー画面のルート部分に表示されます。

また、次のオプションにチェックを入れると、当該 標準単価ファイルを内訳書作成システムで使用する際に、制限を掛けることができます。

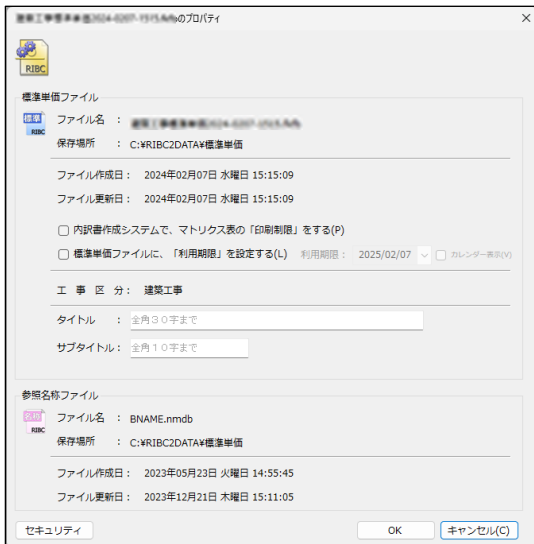
※これらのオプションは、単価計算を実行したユーザーのみ変更ができます。

- ・内訳書作成システムで、マトリクス表の「印刷制限」をする

内訳書作成システムのマトリクス表印刷ツール等で印刷をすることができません。

- ・標準単価ファイルに「利用期限」を設定する

利用期限を過ぎた 標準単価ファイルは、内訳書作成システムで開くことができません。



※画面左下に [セキュリティ] ボタンが表示されている場合、セキュリティ画面を表示させることができます。


セキュリティ画面に表示されたユーザー一覧にチェックを入れると、標準単価ファイルの公開情報に、チェックを入れたユーザーを登録できます。





## 端数処理



Alt + F + H

 標準単価ファイル毎に以下の設定を行います。

- 単価計算の実行時に行われる決定単価欄の丸め処理。
- 補正率欄に 1.0 以外の値を入力した場合の決定単価欄の丸め処理。
-  歩掛りファイルの歩掛り内訳行の金額欄（材料費や労務費等の金額を表示する欄）における丸め処理の有効桁。
-  標準単価ファイルにおける一次単価行への端数処理適用処理。

※端数処理のデフォルト設定は、「公共建築工事積算基準等資料」および「工事費積算における数値の取扱い（例）（国土交通省作成）」に準じています。

## セキュリティ



Alt + F + E

セキュリティ設定の情報は個々のデータファイルに登録され、当該のデータファイルを作成したユーザーに限って設定を変更することができます。

※情報の設定を変更できるファイルを受領した場合を除きます。

セキュリティの設定は以下のいずれかを選択することができます。

- **すべて** 提供先でもすべてのデータが表示されます。
- **0円クリア後マスク表示** 標準単価作成システムでは、ファイルを開く際、決定単価欄等の単価を0円クリアします。内訳書作成システムでは、内訳書に単価を登録する際、単価欄を0円クリアした後、さらにマスク（\*\*\*\*\*）表示します。

セキュリティ設定は、提供先によって、異なる設定にすることができます。

また、提供先の公共機関や設計・積算事務所のユーザーIDが分かっている場合は、個々の団体ごとに異なる設定を登録することもできます。

※提供先のユーザー名をすべて削除すると、他のユーザーではファイルが開かなくなります。



# 印刷



Alt + F + P



## ▶ 表紙・目次・マトリクス表

Alt+F+P+F

表紙・裏表紙・目次・マトリクス表を同時に印刷することができます。  
 また、目次・マトリクス表には、透かし文字を印字することができます。

印刷書式設定

範囲指定  
 すべて  選択した範囲

開始ページ番号  
 1 ページから

透かし文字を出力する

表紙

表裏表紙

目次  
 目次スタイル  
 書式 1  書式 2  奇数で終わる場合、目次の最後に白紙を含める

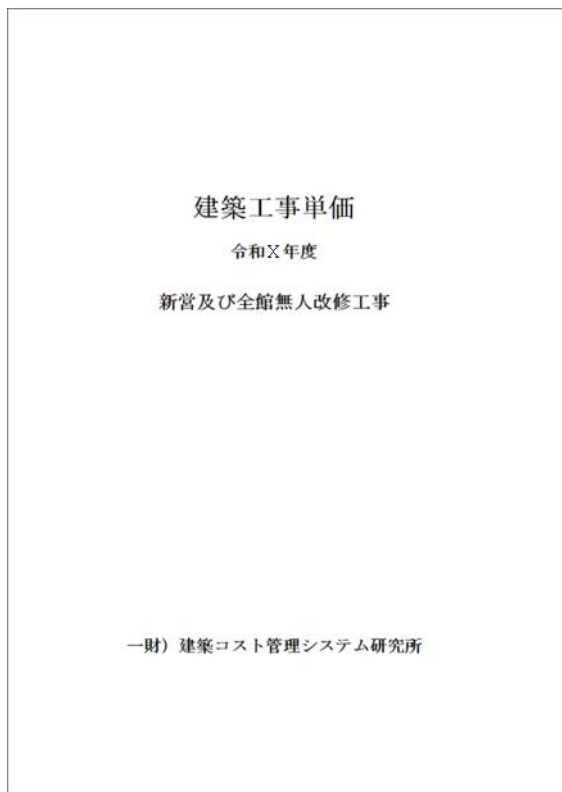
マトリクス表  
 マトリクス表スタイル  
 マトリクス表  
 経年比較表  
 前年決定単価 (上段) / 決定単価 (下段)  UP率 (上段) / 決定単価 (下段)  
 金抜きマトリクス表 (決定単価を\*\*\*\*\*(マスク))  
 公表マトリクス表 (非公表部分の決定単価を墨塗り)  
 物産資料の掲載価格及び掲載価格を用いて算定された現単価等の決定単価を墨塗り  
 指定した決定単価を墨塗り

墨塗りの決定単価指定ファイル

ファイル名: (未設定)  
 シート名: (未設定)

マトリクス表オプション  
 歩掛り区分  ページ抜き

表紙(例)



目次 (透かし文字入り)

XXXX	
共通資料/取扱い/おし・し	1
最早適用	BO-011201 1
取扱い	BO-011412 1
取扱い	BO-011411 1
共通資料/取扱い/取扱い/取扱い	1
取扱い	BO-011510 1
取扱い(手すり)先行方式	BO-011519 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011520 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011521 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011522 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011523 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011524 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011525 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011526 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011527 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011528 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011529 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011530 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011531 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011532 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011533 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011534 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011535 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011536 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011537 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011538 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011539 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011540 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011541 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011542 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011543 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011544 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011545 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011546 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011547 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011548 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011549 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011550 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011551 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011552 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011553 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011554 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011555 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011556 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011557 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011558 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011559 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011560 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011561 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011562 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011563 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011564 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011565 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011566 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011567 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011568 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011569 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011570 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011571 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011572 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011573 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011574 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011575 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011576 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011577 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011578 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011579 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011580 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011581 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011582 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011583 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011584 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011585 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011586 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011587 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011588 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011589 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011590 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011591 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011592 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011593 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011594 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011595 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011596 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011597 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011598 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011599 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011600 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011601 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011602 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011603 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011604 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011605 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011606 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011607 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011608 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011609 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011610 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011611 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011612 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011613 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011614 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011615 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011616 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011617 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011618 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011619 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011620 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011621 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011622 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011623 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011624 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011625 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011626 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011627 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011628 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011629 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011630 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011631 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011632 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011633 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011634 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011635 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011636 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011637 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011638 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011639 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011640 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011641 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011642 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011643 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011644 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011645 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011646 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011647 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011648 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011649 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011650 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011651 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011652 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011653 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011654 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011655 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011656 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011657 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011658 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011659 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011660 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011661 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011662 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011663 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011664 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011665 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011666 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011667 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011668 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011669 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011670 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011671 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011672 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011673 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011674 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011675 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011676 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011677 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011678 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011679 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011680 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011681 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011682 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011683 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011684 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011685 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011686 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011687 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011688 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011689 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011690 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011691 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011692 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011693 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011694 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011695 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011696 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011697 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011698 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011699 2
取扱い(手すり)先行方式	BO-011700 2

### マトリクス表

XXXX				
共通資材／仮設材／ネット・シート				
種目	摘要	単位	単価	備考
電甲塗網	供用1日積料	㎡	0.43	合成 B0-011251
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬				
仮囲い		施工 B0-191412		

### 経年比較表

- ・ 前回決定単価／決定単価

XXXX				
共通資材／仮設材／ネット・シート				
種目	摘要	単位	単価	備考
電甲塗網	供用1日積料	㎡	0.43 0.43	合成 B0-011251
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬				
仮囲い		施工 B0-191412		

- ・ UP率／決定単価

XXXX				
共通資材／仮設材／ネット・シート				
種目	摘要	単位	単価	備考
電甲塗網	供用1日積料	㎡	0.0% 0.43	合成 B0-011251
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬				
仮囲い		施工 B0-191412		

### 金抜きマトリクス表

XXXX				
共通資材／仮設材／ネット・シート				
種目	摘要	単位	単価	備考
電甲塗網	供用1日積料	㎡	*****	合成 B0-011251
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬				
仮囲い		施工 B0-191412		

## 公表マトリクス表

物価資料の掲載価格及び掲載価格等を用いて算定された複合単価等の決定単価を墨塗りで印刷します。  
細目列の左に■が表示されている決定単価が対象になります。

XXXX				
共通資材／仮設材／ネット・シート				
種目	摘要	単位	単価	備考
亀甲金網	供用1日積料	m	0.43	合成 B0-011251
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬				
仮囲い				
			m	施工 B0-131412
供用1日資料 修理費含む	仮囲鉄板	H=2.0m t=1.2mm w=500	-	■
		H=3.0m t=1.2mm w=500	-	■
基本料 修理費含む	仮囲鉄板	H=2.0m t=1.2mm w=500	-	■
		H=3.0m t=1.2mm w=500	-	■

## ▶ 経年比較・ツリーリスト

Alt+F+P+P

経年比較、ツリーリストを印刷します。

**経年比較** [標準単価] 画面の様式で [前回単価] [今回単価] [Up 率] を3段で表示します。

前回単価が登録されていない項目は [-----] で印字します。

操作マニュアル										標準単価経年比較	
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬											
細目	摘要	単位	決定単価	材料費	労務費	材工費	補正率	備考			
仮囲い	設置費 H=2.0m	仮囲鉄板	3,680	0	3,062.8	0	1.2	B0-131412			
			3,560	0	2,964	0	1.2	01 01 01 00 00 00			
			-3.2%	0.00%	+16.13%	0.00%					
仮囲い	設置費 H=3.0m	仮囲鉄板	4,640	0	3,868.8	0	1.2	B0-131412			
			4,490	0	3,744	0	1.2	01 01 02 00 00 00			
			-3.2%	0.00%	+16.13%	0.00%					
仮囲い	撤去費 H=2.0m	仮囲鉄板	1,980	0	1,649.2	0	1.2	B0-131412			
			1,920	0	1,596	0	1.2	02 01 01 00 00 00			
			-3.0%	0.00%	+16.13%	0.00%					
仮囲い	撤去費 H=3.0m	仮囲鉄板	2,500	0	2,083.2	0	1.2	B0-131412			
			2,420	0	2,016	0	1.2	02 01 02 00 00 00			
			-3.2%	0.00%	+16.13%	0.00%					

ツリーリスト [ツリー表示] 見出し画面を印刷します。

標準単価ツリーリスト	
■ 共通資材	
■ 仮設材	
■ ネット・シート	
■ 仮囲い	B0-131412
■ 亀甲金網	B0-011251
■ 建築工事	
■ 仮設	
■ 共通仮設	
■ 仮囲い・仮設鉄板・運搬	
■ 仮囲い運搬	B0-131414
■ 仮設鉄板敷	B0-131431
■ 仮設敷鉄板運搬	B0-131697

## 印刷プレビュー(表紙・目次・マトリクス表)



Alt + F + V

表紙・裏表紙・目次・マトリクス表の印刷イメージを画面に表示します。



## 標準単価作成システムの終了



Alt + F + X

標準単価作成システムを終了します。



## [編集(E)]メニュー

### 切り取り



Ctrl + X  
Alt + E + T

選択した行を切り取ります。



例1：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

例2：切り取り&行挿入で、一次単価ファイルで切り取った行を標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

### コピー



Ctrl + C  
Alt + E + C

セルまたは選択した行をコピーします。



例1：コピー&行挿入で、コピーした行を別の標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

例2：コピー&行挿入で、一次単価ファイルでコピーした行を標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

### 貼り付け



Ctrl + V  
Alt + E + P

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。



※貼り付けできるセル：材料費、労務費、材工費、補正率、備考

### 行を挿入



Alt + E + I

別の標準単価ファイル、一次単価ファイル、歩掛りファイルでコピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。



### 削除



Del  
Alt + E + D

標準単価ファイルの行を削除します。



### 選択行の内容をクリア



Alt + E + R

選択した行の備考欄、材料費欄、労務費欄、材工費欄をクリアします。



▶ 備考欄 Alt+E+R+0

▶ 材料費欄 Alt+E+R+1

▶ 労務費欄 Alt+E+R+2

▶ 材工費欄 Alt+E+R+3

## 一括クリア



Alt + E + N

ファイル内の単価欄、金額欄を一括操作でゼロクリアします。



## すべて選択



Ctrl + A  
Alt + E + A

すべての行を選択します。



## 検索



Alt + E + F



### ▶ 摘要名称検索



Alt+E+F+T

選択した単価行と細目名称が一致する、他の摘要名称の単価行を検索します。

## マトリクス表の表紙・裏表紙を編集



Alt + E + M

マトリクス表に出力する表紙と裏表紙を編集します。



## [表示(V)]メニュー

### ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている標準単価作成システムのファイル一覧を表示します。



▶ 右側にタブ表示

Alt+V+F+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+F+L

▶ 右側にファイル一覧表示

Alt+V+F+E

▶ 左側にファイル一覧表示

Alt+V+F+W

### ツリー表示



Alt + V + T

単価や歩掛りの名称をフォルダに分類して階層表示します。



▶ 右側にタブ表示

Alt+V+T+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+T+L

▶ 右側にツリー表示

Alt+V+T+E

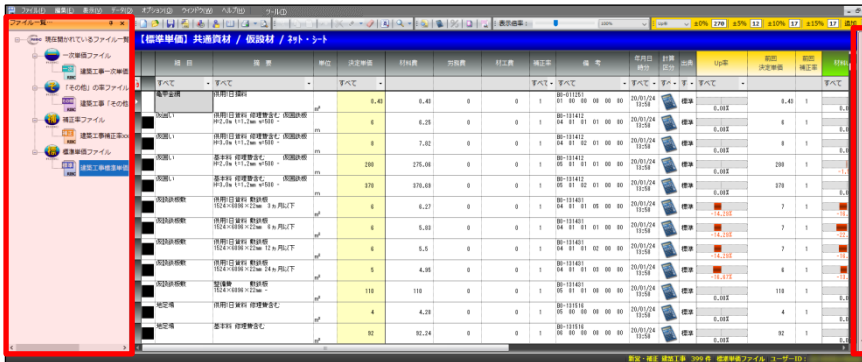
▶ 左側にツリー表示

Alt+V+T+W

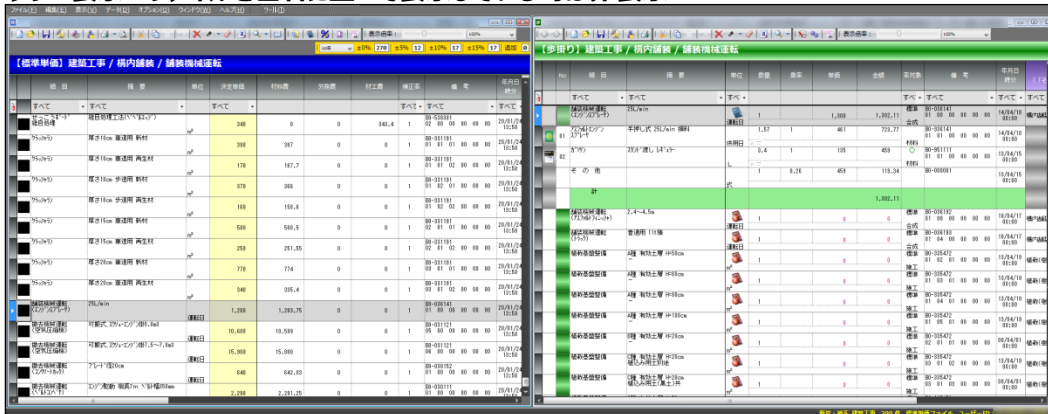
▶ ファイルを左右に並べて表示している時は非表示

Alt+V+T+J

### ファイル一覧…左側にファイル一覧表示 ツリー表示…右側にタブ表示



### ツリー表示…ファイルを左右に並べて表示している時は非表示









## Excel データ読込



Alt + D + I

### マトリクス表の備考欄を読み込む場合



読み込むファイル名とシート選択をします。読み込んだ Excel ファイルのパスやシート名は、標準単価ファイルには保持されません。マトリクス表の備考欄については、参照する名称ファイルに書き込まれ、同時に同じ名称を参照している標準単価ファイルのマトリクス表備考も更新されます。

### 標準単価編集画面の備考欄を読み込む場合



読み込むファイル名とシート名を選択します。読み込んだ Excel ファイルのパスやシート名は、標準単価ファイルに保持されません。標準単価編集画面の備考欄の読み込みについては、当該ファイルの備考欄のみ更新されます。

## 前回単価データ読込



Alt + D + T

前回の計算で作成した標準単価ファイルから、単価コードが一致した単価を読み込みます。処理が終了すると、[前回 Up 率] ~ [単価増減]（背景色が黄・緑・赤・青）の各欄を更新します。前回単価ファイルに単価が登録されていなかった行は、[前回 Up 率] 欄 ~ [単価増減] 欄の率や単価に [-----] を表示します。

## 単価計算



Alt + D + C

既存の標準単価ファイルを使って単価計算を行います。単価計算を実行すると、計算結果が標準単価ファイルに作成され、計算の内訳が歩掛りファイルに出力されます。また、標準単価ファイルの公開情報の設定が、歩掛りファイルに転記されます。

## 率一括入力



Alt + D + R

任意の複数行を指定して、補正率欄を一括入力します。

## マトリクス書式設定



Alt + D + F

マトリクス表の書式設定は、細目名称毎に次の操作を行うことができます。

- ・ 摘要名称の配列（縦と横）を指定できます。
- ・ 当該細目の単価欄や備考欄の印刷を省略する／しないの設定ができます。

※ただし、複数の名称を一括して設定することはできません。

## 名称選択

Ctrl + J  
Alt + D + W

名称ファイルに登録済みの細目名称と摘要を選択して、標準単価ファイルに行を登録し、材料費欄や労務費欄、材工費欄に単価を手入力します。

# VI. 歩掛りファイル

## 目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 一次単価ファイル

III. 「その他」の率ファイル

IV. 補正率ファイル

V. 標準単価ファイル

VI. 歩掛りファイル

### VI-1. 画面説明

列見出し（歩掛り一覧行） .....	VI-3
歩掛り区分 .....	VI-4
列見出し（歩掛り内訳行） .....	VI-5

### VI-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー .....	VI-7
新規作成 .....	VI-7
開く .....	VI-7
閉じる .....	VI-7
上書き保存 .....	VI-7
名前を付けて保存 .....	VI-7
ファイルプロパティ .....	VI-7
セキュリティ .....	VI-8
印刷 .....	VI-8
標準単価作成システムの終了 .....	VI-8
[編集(E)]メニュー .....	VI-9
切り取り .....	VI-9
コピー .....	VI-9
貼り付け .....	VI-9
行を挿入 .....	VI-9
削除 .....	VI-9
選択行の内容をクリア .....	VI-9
一括クリア .....	VI-10
すべて選択 .....	VI-10
工種（「その他」の率）設定 .....	VI-10
工種（補正率）設定 .....	VI-10
「その他」の率対象一括設定 .....	VI-10
抜き取り有無一括設定 .....	VI-10
補正率の対象一括設定 .....	VI-11
検索 .....	VI-11
[表示(V)]メニュー .....	VI-12
ファイル一覧 .....	VI-12

ツリー表示.....	VI-12
画面分割／解除.....	VI-13
ツールバー.....	VI-13
選択行の歩掛り内訳を表示・非表示.....	VI-14
最新の情報に更新.....	VI-14
[データ(D)]メニュー.....	VI-15
ファイルメンテナンス.....	VI-15
メンテナンス Excel ファイル出力.....	VI-15
名称選択.....	VI-15

## VII. 計算情報ファイル

## VIII. 名称ファイル

### 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記の e ラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



# VI-1.画面説明

歩掛り RIBC 歩掛りファイルを開くと、登録されている歩掛り名称の一覧画面が表示されます。(歩掛り一覧表示)

細目名称欄をダブルクリックすると歩掛り内訳画面が表示されます。(歩掛り内訳表示)







同じ名称をもう一度ダブルクリックすると、表示されていた行が非表示になります。

No	細目	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考	年月日時分	工程 (「その他」の率)	工程 (修正率)
	すべて	すべて	すべて						すべて	すべて	すべて	すべて
	電事金具	引用日簿料		1					標準	80-011251 01 00 00 00 00 00	07/04/02 00:00	仮設
01	電事金具	引用日簿料16 基礎用	m	0.2222	0.01	0	0		合巻	80-116811 07 01 00 00 00 00	07/04/02 00:00	材料
	計											
	仮囲い	設置費	仮囲い板	1					標準	80-131412 01 01 01 00 00 00	15/04/01 00:00	仮設
01	普通作業員		m	0.19	0.65	0	0		施工	80-111112 00 00 00 00 00 00	07/04/01 00:00	仮設
02	雑費		人	0.08	1	0	0		労務	80-000811 00 00 00 00 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	その他		式	1	0	0	0		労務	80-000801 02 03 15 00 00 00	02/03/15 00:00	仮設
	計											
	仮囲い	設置費	仮囲い板	1					標準	80-131412 01 01 02 00 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	撤去費	仮囲い板	1					標準	80-131412 02 01 01 00 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	撤去費	仮囲い板	1					標準	80-131412 02 01 02 00 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	引用日簿料 管理費含む	仮囲い板	1					標準	80-131412 04 01 01 01 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	引用日簿料 管理費含む	仮囲い板	1					標準	80-131412 04 01 02 01 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	基本料 管理費含む	仮囲い板	1					標準	80-131412 05 01 01 01 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	基本料 管理費含む	仮囲い板	1					標準	80-131412 05 01 02 01 00 00	15/04/01 00:00	仮設
	仮囲い	基本料 管理費含む	仮囲い板	1					標準	80-131414 01 00 00 00 00 00	09/05/01 00:00	仮設

## 列見出し(歩掛り一覧行)

歩掛り画面の列見出し(歩掛り一覧行)には、以下の項目が表示されます。

名称	説明
① 細目 摘要	歩掛りの名称が表示されます。 ※文字列が青色で表示され、名称欄の左に  アイコンが表示されている行は、マトリクス書式設定で「印刷不要」が設定されていることを示します。
② 単位	単位名称と、単価計算の状態がアイコンで表示されます。 (計算) は、正常に計算が終了した項目です。 (未計算) は、計算が行われていないか、単価計算が途中で打ち切りになった項目です。 (計算無) は、 計算情報ファイルで「計算しない歩掛り」に指定された項目です。
③ 数量	通常は1です。必要に応じ、当たり数量を入力します。
④ 乗率	(使用しません)

名 称		説 明
⑤	単 価	歩掛り内訳行の計行（丸め処理の後）が表示されます。  標準単価ファイルの決定単価欄と同じ値が表示されます。
⑥	金 額	歩掛り内訳行の計行（丸め処理の前）が表示されます。
⑦	率 対 象	上段：歩掛り区分が表示されます。 下段：単価の種類が表示されます。歩掛り区分は、計算した歩掛りの出典根拠を示します。
⑧	備 考	上段：細目名称のコード番号。中段：摘要名称のコード番号。 下段：メモ欄。メモ欄をクリックして [F2] キーを押すと、全角で 10 文字まで入力することができます。 ※標準単価の計算を [新規] オプションで実行すると、入力したメモ欄が  標準単価ファイルに転記されます。
⑨	年 月 日 時 分	行を登録、または編集した日時（備考欄は除く）を表します。
⑩	工 種 （「その他」の率）	 「その他」の率ファイルで抜き取りをおこなうと、工種（「その他」の率）欄に設定されている項目が工種欄に設定されます。  「その他」の率ファイルで、工種ごとに一括で率を設定するときに使用します。 なお、歩掛り内訳に「その他」行が登録されていない歩掛り一覧行の工種欄は、斜線が表示されます。
⑪	工 種 （ 補 正 率 ）	 補正率ファイルで抜き取りをおこなうと、工種（補正率）欄に設定されている項目が工種欄に設定されます。  補正率ファイルで、工種ごとに一括で率を設定するときに使用します。 なお、歩掛り内訳に「数量に対して補正」または「単価に対して補正」の設定がされていない歩掛り一覧行の工種欄は、斜線が表示されます。




## 歩掛り区分

区分	出 典
標準	公共建築工事標準単価積算基準（ <a href="#">標準</a> 歩掛り）
市場	公共建築工事標準単価積算基準（ <a href="#">市場</a> 単価）
参考	公共建築工事積算研究会 <a href="#">参考</a> 歩掛り
資料	公共建築工事積算基準等 <a href="#">資料</a>
補市	<a href="#">補正市場</a> 単価
補算	<a href="#">補正算</a> 出用 ※補正率の算定に使用している「参考歩掛り」等
市加	<a href="#">市場単価加工</a> ※市場単価±材料単価、市場単価±複合単価
協議	営繕積算システム等開発利用 <a href="#">協議</a> 会歩掛り ※「標準歩掛り」の補足資料
協参	営繕積算システム等開発利用 <a href="#">協議</a> 会 <a href="#">参考</a> 資料
参資	上記単価以外の <a href="#">参考</a> 資料 ※「見積り単価」等の検討資料



区分	出典
独自	ユーザーが <b>独自</b> に作成した歩掛り ※共通歩掛りを改変したデータも [独自] 表示になります
住標	公共 <b>住</b> 宅建設工事積算基準 ( <b>標準</b> 歩掛り)
住市	公共 <b>住</b> 宅建設工事積算基準 ( <b>市場</b> 単価)

## 列見出し(歩掛り内訳行)

歩掛り内訳行には、歩掛りの単価の構成が表示されます。

単価計算を実行すると、名称欄の左に単価の出典が表示されます。他の  歩掛りファイルから引用した単価は  歩掛りファイルのアイコン、それ以外は  一次単価ファイルの入力区分のアイコンが表示されます。

歩掛り画面の列見出し(歩掛り内訳行)には、以下の項目が表示されます。

名 称	説 明	
①	単価出典のアイコンが表示されます。	
①	細目 摘要	材料単価や労務単価、他の歩掛りを引用している場合は歩掛りの名称等が表示されます。
②	単 位	単位名称が表示されます。 数式が設定されている項目は  一次単価ファイルに単価名称の抜き取りを行わないため、  (抜取無) アイコンが表示されます。
③	数 量	歩掛り、数量または率を表示します。改修工事または撤去工事を計算した場合は下段に補正率が表示されます。
④	乗 率	数量欄の値に割増または低減を行う際に入力します。
⑤	単 価	表示の名称の単価が表示されます。
⑥	金 額	数量、乗率、単価の各欄を乗じた値が表示されます。
—	数 式	数量欄～金額欄の下のボックスは数式の欄です。 数式は、付属品や雑材料費等、単価または材料価格に率を乗じて計上する場合に使用します。
⑦	率 対 象	上段：[○] の行は「その他」行を計算するときの対象となる項目です。 中段：[☆] の行は、計算において歩掛り(数量欄)に対して補正を行います。 [★] の行は、計算において単価欄に対して補正を行います。 下段：単価の種類が表示されます。
⑧	備 考	上段：細目名称のコード番号。 中段：摘要名称のコード番号。 下段：メモ欄。メモ欄をクリックして [F2] キーを押すと、全角で 10 文字まで入力することができます。
⑨	年 月 日 時 分	行を登録、または編集した日時(備考欄は除く)を表します。
⑩	工 種 (「その他」の率)	(使用しません)

---

名 称		説 明
⑪	工 種 ( 補 正 率 )	(使用しません)



## VI-2.機能説明

### [ファイル(F)]メニュー

#### 新規作成



Ctrl + N

Alt + F + N

独自歩掛りを登録するファイルを新規に作成するときに実行します。



#### 開く



Ctrl + O

Alt + F + O

標準単価作成システムで使用するファイルを開きます。



#### 閉じる



Ctrl + W

Alt + F + C

 歩掛りファイルを閉じます。



#### 上書き保存



Ctrl + S

Alt + F + S

 歩掛りファイルを上書き保存します。



#### 名前を付けて保存

F12

Alt + F + A

 歩掛りファイルに名前を付けて保存します。



#### ファイルプロパティ



Ctrl + B

Alt + F + B

 歩掛りファイルの情報を表示します。



## セキュリティ



Alt + F + E

セキュリティ設定の情報は個々のデータファイルに登録され、当該のデータファイルを作成したユーザーに限って設定を変更することができます。



※公開情報の設定を変更できるファイルを受領した場合を除きます。

セキュリティの設定は以下のいずれかを選択することができます。

- **すべて** 提供先でもすべてのデータが表示されます。
- **0円クリア** 提供先では単価、金額、「その他」の率の各欄はゼロで表示されます。

セキュリティ設定は、提供先によって、異なる設定にすることができます。

また、提供先の公共機関や設計・積算事務所のユーザーIDが分かっている場合は、個々の団体ごとに異なる設定を登録することもできます。

※提供先のユーザー名をすべて削除すると、他のユーザーではファイルが開かなくなります。

## 印刷



Ctrl + P  
Alt + F + P

歩掛り一覧リスト、歩掛りリスト、ツリーリストを印刷します。



- **歩掛り一覧リスト** 歩掛りの名称を印刷します。
- **歩掛りリスト** 歩掛りの名称と内訳を印刷します。
- **ツリーリスト** ツリー画面を印刷します。

## 標準単価作成システムの終了



Alt + F + X

標準単価作成システムを終了します。




## [編集(E)]メニュー



### 切り取り



Ctrl + X  
Alt + E + T

選択した行を切り取ります。

例1：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の  歩掛りファイルに挿入する時に使用します。

例2：切り取り&行挿入で、 歩掛りファイルで切り取った行を  標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

例3：歩掛り内訳行の並び順序を変える場合に使用します。



### コピー



Ctrl + C  
Alt + E + C

セルまたは選択した行をコピーします。

例1：コピー&行挿入で、コピーした行を別の  歩掛りファイルに挿入する時に使用します。

例2：コピー&行挿入で、 歩掛りファイルでコピーした行を  標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

### 貼り付け



Ctrl + V  
Alt + E + P


コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

※貼り付けできるセル：数量、乗率、備考

### 行を挿入



Alt + E + I

別の  歩掛りファイルでコピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。

### 削除



Del  
Alt + E + D

歩掛り一覧行または歩掛り内訳行を削除します。

### 選択行の内容をクリア



Alt + E + R

選択した行の備考欄（メモ欄）をクリアします。

※歩掛り内訳行を表示しているときは、歩掛り内訳行の備考欄もクリアします。

▶ 備考欄

Alt+E+R+0

## 一括クリア



Alt + E + N

ファイル内の単価欄、金額欄を一括操作でゼロクリアします。



## すべて選択



Ctrl + A  
Alt + E + A

すべての行を選択します。




## 工種（「その他」の率）設定



Alt + E + S

歩掛り一覧行の歩掛りが従属する工種を選択します。



工種（「その他」の率）欄は、 「その他」の率ファイルの入力画面で、工種ごとに率を一括設定するときに使用します。

## 工種（補正率）設定



Alt + E + H

歩掛り一覧行の歩掛りが従属する工種を選択します。



工種（補正率）欄は、 補正率ファイルの入力画面で、工種ごとに率を一括設定するときに使用します。

## 「その他」の率対象一括設定



Alt + E + J

歩掛り内訳行（材料費等）の率対象欄を設定します。



材料費等を「その他」の率対象にすると「その他」行が自動的に登録されます。

▶ 「その他」の率対象 Alt+E+J+1

▶ 「その他」の率に含めない Alt+E+J+0

## 抜き取り有無一括設定



Alt + E + K

歩掛り内訳行の抜き取り有無を一括設定します。



「抜き取りなし」に設定すると、一次単価ファイルへの抜き取り処理の対象外となります。

▶ 抜き取りあり Alt+E+K+1

▶ 抜き取りなし Alt+E+K+0

## 補正率の対象一括設定



Alt + E + L



### ▶ 数量に補正率を掛ける

Alt+E+L+1

歩掛り（数量欄）に対して補正を行う場合に設定します。率対象欄の二段目に「☆」が表示されます。

### ▶ 単価に補正率を掛ける

Alt+E+L+2

単価欄に対して補正を行う場合に設定します。率対象欄の二段目に「★」が表示されます。

### ▶ 補正しない

Alt+E+L+0

補正を行わない場合に設定します。率対象欄の二段目に（空白）が表示されます。

## 検索



Alt + E + F



### ▶ 摘要名称検索



Alt+E+F+T

選択中の細目名称の摘要欄を検索します。


### ▶ 歩掛り検索



Alt+E+F+B

選択した歩掛りを引用している歩掛りを検索します。

※検索結果画面の最右列に検索先の  歩掛りファイル名が表示されます。

 歩掛りファイル名をクリックして当該ファイルを表示することができます。

## [表示(V)]メニュー

### ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている標準単価作成システムのファイル一覧を表示します。



- ▶ 右側にタブ表示 Alt+V+F+R
- ▶ 左側にタブ表示 Alt+V+F+L
- ▶ 右側にファイル一覧表示 Alt+V+F+E
- ▶ 左側にファイル一覧表示 Alt+V+F+W

### ツリー表示



Alt + V + T

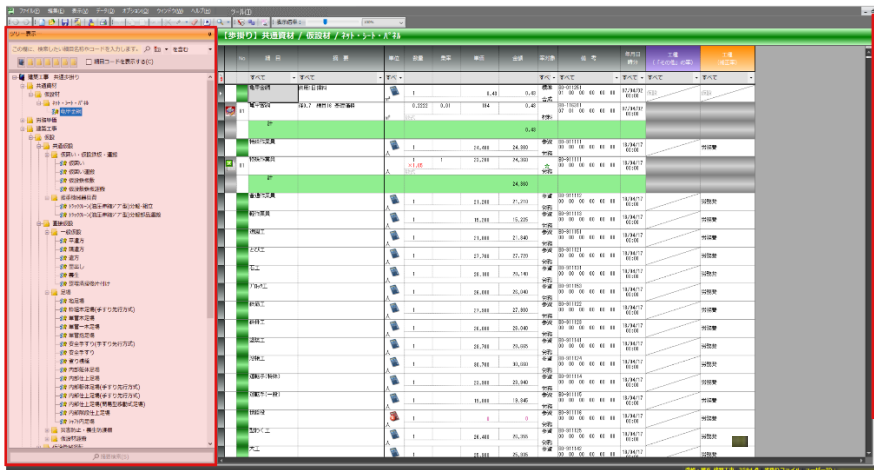
単価や歩掛りの名称をフォルダに分類して階層表示します。



- ▶ 右側にタブ表示 Alt+V+T+R
- ▶ 左側にタブ表示 Alt+V+T+L
- ▶ 右側に細目検索・ツリー表示 Alt+V+T+E
- ▶ 左側に細目検索・ツリー表示 Alt+V+T+W
- ▶ ファイルを左右に並べて表示している時は非表示 Alt+V+T+J

ファイル一覧…右側にタブ表示

ツリー表示…左側にツリー表示



## 画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。

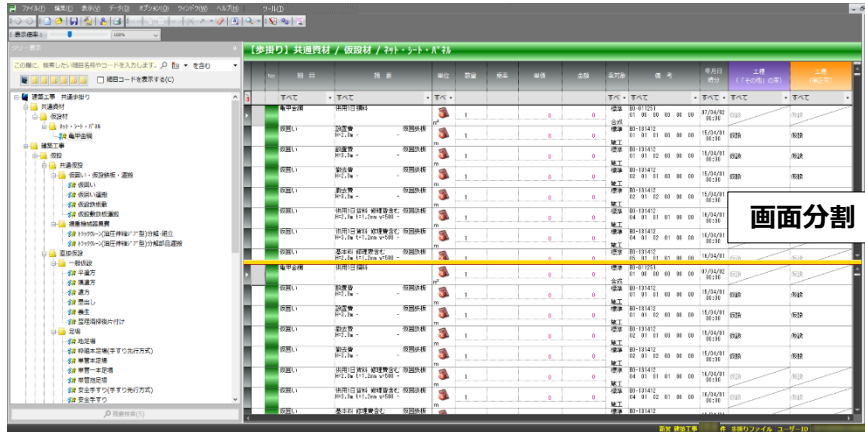


## ▶ 画面分割

Alt+V+V+P

## ▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D



## ツールバー



Alt + V + B

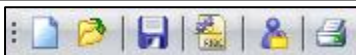
## ▶ 移動

Alt+V+B+N



## ▶ ファイル

Alt+V+B+F



## ▶ 編集

Alt+V+B+E



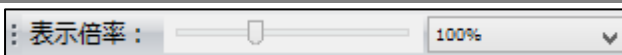
## ▶ データ

Alt+V+B+D



## ▶ 表示倍率

Alt+V+B+Z







## [データ(D)]メニュー

### ファイルメンテナンス






Alt + D + M

 メンテナンス Excel ファイルを使って、 独自歩掛りファイルの歩掛り内訳行に  登録されている一次単価や標準単価のコード番号を新しい番号に置換することができます。

### メンテナンス Excel ファイル出力






Alt + D + X



前回の計算に使用した  歩掛りファイルと今回の計算に使用する  歩掛りファイルを比較して、単価コード読み替え用の  メンテナンス Excel ファイルを出力します。

### 名称選択

Ctrl + J  
Alt + D + W

- 歩掛り一覧行を登録します。この画面の名称が  標準単価ファイルに出力されます。 
- 歩掛り内訳行に材料単価や労務単価などの行を登録します。  
歩掛り一覧行の名称を登録した場合は、当該歩掛りで計算した単価を引用して計算します。

※歩掛り内訳画面には、他の  歩掛りファイルに保存されている歩掛り一覧行の名称を登録することもできます。

なお、他の  歩掛りファイルで計算した単価を引用する場合は、単価計算を行うときに参照先の  歩掛りファイルも一緒に計算させる必要があります。



# VII. 計算情報ファイル

## 目次

### はじめに

- I. 共通メニュー
- II. 一次単価ファイル
- III. 「その他」の率ファイル
- IV. 補正率ファイル
- V. 標準単価ファイル
- VI. 歩掛りファイル
- VII. 計算情報ファイル

#### VII-1. 画面説明

列見出し .....	VII-3
------------	-------

#### VII-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー .....	VII-5
新規作成 .....	VII-5
開く .....	VII-5
閉じる .....	VII-5
上書き保存 .....	VII-5
名前を付けて保存 .....	VII-5
ファイルプロパティ .....	VII-6
印刷 .....	VII-6
標準単価作成システムの終了 .....	VII-6
[編集(E)]メニュー .....	VII-7
切り取り .....	VII-7
コピー .....	VII-7
貼り付け .....	VII-7
行を挿入 .....	VII-7
削除 .....	VII-7
選択行の内容をクリア .....	VII-7
一括クリア .....	VII-7
すべて選択 .....	VII-8
計算情報設定（新営・補正） .....	VII-8
計算情報設定（改修・補正） .....	VII-8
計算情報設定（撤去） .....	VII-8
丸め有無設定 .....	VII-8
検索 .....	VII-8
[表示(V)]メニュー .....	VII-9
ファイル一覧 .....	VII-9
ツリー表示 .....	VII-9
画面分割／解除 .....	VII-10
ツールバー .....	VII-10

最新の情報に更新 .....	VII-10
[データ(D)]メニュー .....	VII-11
別ファイルからの読込 .....	VII-11
計算情報自動作成 .....	VII-11
ファイルメンテナンス .....	VII-11

## VIII. 名称ファイル

### 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記の eラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)



## VII-1.画面説明

計算情報ファイルには、単価計算の条件設定や、丸め処理の有無を設定する名称を登録します。登録されていない名称の歩掛りは、通常の単価計算を行います。

項目	摘要	単位	新営・補正	改修・補正	撤去	丸め	区分	標準	年月日
すべて	すべて		すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて
鉄筋コンクリート用真形棒鋼	JIS G3112 S4295 D10 少量	t	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41
鉄筋コンクリート用真形棒鋼	JIS G3112 S4295 D18 少量	t	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41
リッパ付軽量溝形鋼	80×30×10×2.3 SSC400相当品	kg	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41
リッパ付軽量溝形鋼	75×45×15×2.3 SSC400相当品	kg	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41
六角ボルト	M3/8 冷間鉄-7	個	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41
なまし鉄線	#10 径3.2mm	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
結束線	#21 径0.8mm	kg	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41
亀甲金網	径0.7 網目16 基礎価格	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
列見出し	平ワ500	m <sup>2</sup>	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
鉄丸くぎ	N45 #18 長さ45	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
鉄丸くぎ	N60 #12 長さ50	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
鉄ドクぎ	#16×25mm 2ヶ所	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
みじんがしスクリューねじ	#16×25mm 2ヶ所	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
スチール	4.19(鉄)×50	kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
普通鋼鉄コンクリート		kg	×	△	×		一次	材料	22/05/18 18:41
白砂		kg	×	×	×		一次	材料	22/05/18 18:41

### 列見出し

計算情報画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
① 新営・補正	各々の工事の単価計算において、計算する、しない等を設定します。 [○] の項目は単価計算を行います。
① 改修・補正	単価計算の内訳を  歩掛りファイルに記録し、計算結果を  標準単価ファイルに出力します。（この設定は  計算情報ファイルを設定しないで計算した場合と同じ動作になります。）
撤去	[△] の項目は単価計算を行い、計算の内訳を  歩掛りファイルに記録しますが、計算結果は  標準単価ファイルには出力されません。 市場単価の補正用歩掛りの計算結果を  標準単価ファイルに出力しないとき等に設定を行います。
② 丸め処理	[×] の項目は単価計算を行いません。 [丸め無] 表示の項目は、 歩掛りファイルの決定単価欄に端数処理を行いません。空白表示の項目は端数処理を行います。

名 称		説 明
③	区 分	左：計算の根拠となった歩掛りまたは単価の種類を表示します。 右：単価の種類を表示します。
④	備 考	上段：細目名称のコード番号。 中段：摘要名称のコード番号。 下段：メモ欄。メモ欄をクリックして [F2] キーを押すと、全角で 10 文字まで入力することができます。 ※単価計算をすると、入力された備考が標準単価ファイルにコピーされます。
⑤	年 月 日 時 分	最後に編集が行われた日時が表示されます。

## VII-2.機能説明

### [ファイル(F)]メニュー

#### 新規作成

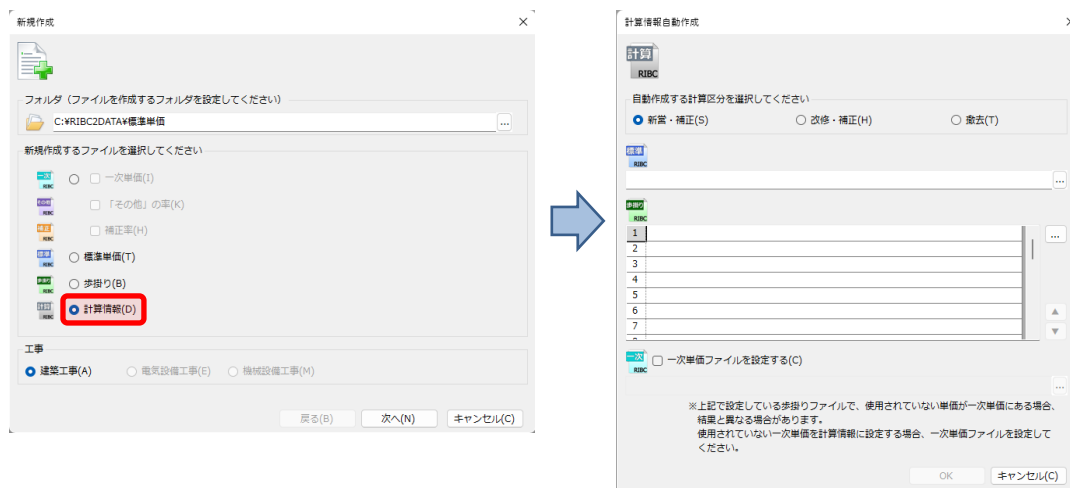


Ctrl + N

Alt + F + N

新規作成するファイルを選択します。

 計算情報ファイルを作成すると、計算情報自動作成画面が表示されます。



#### 開く



Ctrl + O

Alt + F + O

標準単価作成システムで使用するファイルを開きます。



#### 閉じる



Ctrl + W

Alt + F + C

 計算情報ファイルを閉じます。




#### 上書き保存



Ctrl + S

Alt + F + S

 計算情報ファイルを上書き保存します。



#### 名前を付けて保存

F12

Alt + F + A


 計算情報ファイルに名前を付けて保存します。



## ファイルプロパティ



Ctrl + B  
Alt + F + B

 計算情報ファイルの情報を表示します。

必要に応じ [タイトル] ボックスと [サブタイトル] ボックスに入力します。

※ [タイトルボックス] は印刷リストのヘッダー部分やツリー画面のルート部分に表示されます。

## 印刷



Ctrl + P  
Alt + F + P

計算情報リスト、ツリーリストを印刷します。

- ・ **計算情報リスト** [名称] と [新営・補正] [改修・補正] [撤去] の計算情報、[丸め有無]、  
[区分] を印字します。
- ・ **ツリーリスト** ツリー画面を印刷します。

## 標準単価作成システムの終了



Alt + F + X

標準単価作成システムを終了します。





## [編集(E)]メニュー

### 切り取り

Ctrl + X  
Alt + E + T

選択した行を切り取ります。

例：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の計算情報ファイルに挿入する時に使用します。



### コピー

Ctrl + C  
Alt + E + C

セルまたは選択した行をコピーします。

例：コピー&行挿入で、コピーした行を別の計算情報ファイルに挿入する時に使用します。



### 貼り付け

Ctrl + V  
Alt + E + P

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

※貼り付けできるセル：備考



### 行を挿入



Alt + E + I

別の計算情報ファイル、標準標準単価ファイル、一次単価ファイル、歩掛りファイルでコピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。



### 削除

Del  
Alt + E + D

選択した行を削除します。



### 選択行の内容をクリア



Alt + E + R

選択した行の備考欄（メモ欄）をクリアします。



▶ 備考欄

Alt+E+R+O

### 一括クリア



Alt + E + N

すべての行を「計算有、出力有、丸め有」に戻します。



## すべて選択



Ctrl + A  
Alt + E + A

すべての行を選択します。

計算  
RIBC

## 計算情報設定(新営・補正)



Alt + E + X

新営・補正欄に計算情報を設定します。

計算  
RIBC

- ・○ 通常の計算を行います。
- ・△ 単価計算を行います。単価表に項目は出力されません。
- ・× 単価計算を行いません。

## 計算情報設定(改修・補正)



Alt + E + Y

改修・補正欄に計算情報を設定します。

計算  
RIBC

- ・○ 通常の計算を行います。
- ・△ 単価計算を行います。単価表に項目は出力されません。
- ・× 単価計算を行いません。

## 計算情報設定(撤去)



Alt + E + Z

撤去欄に計算情報を設定します。

計算  
RIBC

- ・○ 通常の計算を行います。
- ・△ 単価計算を行います。単価表に項目は出力されません。
- ・× 単価計算を行いません。

## 丸め有無設定



Alt + E + M

丸め有無を設定します。

計算  
RIBC

- ・丸め有 丸め処理を行います。丸め有設定の欄は空白表示になります。
- ・丸め無 丸め処理を行いません。

## 検索



Alt + E + F

計算  
RIBC

### ▶ 摘要名称検索



Alt + E + F + T

選択した単価行と細目名称が一致する、他の摘要名称の単価行を検索します。

## [表示(V)]メニュー

## ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている標準単価作成システムのファイル一覧を表示します。



- ▶ 右側にタブ表示 Alt+V+F+R
- ▶ 左側にタブ表示 Alt+V+F+L
- ▶ 右側にファイル一覧表示 Alt+V+F+E
- ▶ 左側にファイル一覧表示 Alt+V+F+W

## ツリー表示



Alt + V + T

単価や歩掛りの名称をフォルダに分類して階層表示します。



- ▶ 右側にタブ表示 Alt+V+T+R
- ▶ 左側にタブ表示 Alt+V+T+L
- ▶ 右側にツリー表示 Alt+V+T+E
- ▶ 左側にツリー表示 Alt+V+T+W
- ▶ ファイルを左右に並べて表示している時は非表示 Alt+V+T+J

ファイル一覧…右側にファイル一覧表示

ツリー表示…左側にタブ表示

The screenshot displays the main application window with a data table and a secondary window titled 'ファイル一覧' (File List). The data table has columns for '項目' (Item), '概要' (Description), '単位' (Unit), '前号・補正' (Previous No./Correction), '名称・補正' (Name/Correction), '索引' (Index), '丸め処理' (Rounding), '区分' (Category), '備考' (Remarks), and '年月日' (Date/Time). The 'ファイル一覧' window shows a tree structure of files, including folders like '歩掛りファイル' and '計算情報ファイル', and files like '計算情報.dieib'.

項目	概要	単位	前号・補正	名称・補正	索引	丸め処理	区分	備考	年月日
すべて	すべて		すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて
壁筋(分付)別 異形棒鋼	D15 GB112 S2095 D10 少量	t	×	×	×		一次	材料 01 01 01 00 00 00	22/05/18 18:41
壁筋(分付)別 異形棒鋼	D15 GB112 S2095 D10 少量	t	×	×	×		一次	材料 01 01 02 00 00 00	22/05/18 18:41
60°竹軽量湧形鋼	60×60×10×2.3 SSC400相当品	t	×	×	×		一次	材料 02 01 00 00 00 00	22/05/18 18:41
60°竹軽量湧形鋼	75×45×15×2.3 SSC400相当品	kg	×	×	×		一次	材料 04 01 00 00 00 00	22/05/18 18:41
六角棒	90/6 湧形鋼	kg	×	×	×		一次	材料 02 00 00 00 00 00	22/05/18 18:41
なまし鉄線	D10 径2.2mm	kg	×	△	×		一次	材料 02 00 00 00 00 00	22/05/18 18:41
結束線	D21 径9.0mm	kg	×	×	×		一次	材料 01 00 00 00 00 00	22/05/18 18:41
高平金網	径9.7 網目16 亜鉛めっき	kg	×	△	×		一次	材料 07 01 00 00 00 00	22/05/18 18:41
防錆油	平形500	m <sup>2</sup>	×	△	×		一次	材料 02 00 00 00 00 00	22/05/18 18:41
鉄丸つき	D45 #10 長さ45	m <sup>2</sup>	×	△	×		一次	材料 02 00 00 00 00 00	22/05/18 18:41
鉄丸つき	D60 #12 長さ50	kg	×	△	×		一次	材料 04 00 00 00 00 00	22/05/18 18:41
鉄丸つき	D16×25mm 2.70	kg	×	△	×		一次	材料 01 01 00 00 00 00	22/05/18 18:41
鉄丸つき	D16×25mm 2.70	kg	×	△	×		一次	材料 00-214001	22/05/18 18:41

## 画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。

### ▶ 画面分割

Alt+V+V+P

### ▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D



## ツールバー



Alt + V + B

### ▶ ファイル

Alt+V+B+F



### ▶ 編集

Alt+V+B+E



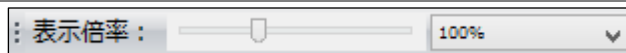
### ▶ データ

Alt+V+B+D



### ▶ 表示倍率

Alt+V+B+Z



## 最新の情報に更新



F5

Alt + V + R

計算情報ファイルと名称ファイルを同時に編集している時に、  
名称ファイルで編集した名称・摘要・単位等の最新の情報を、計算情報画面に反映します。

※ 計算情報ファイルを一度閉じて、システムを再起動する方法でも名称ファイルの最新の情報を、計算情報画面に反映させることができます。

## [データ(D)]メニュー

### 別ファイルからの読込



Alt + D + Y

別の計算情報ファイル（昨年度の実績ファイル等）から、同じ単価名称の丸め処理欄の設定や備考欄（3 段目）のメモ書きをコピーすることができます。

※備考欄は、計算情報ファイル以外に、標準単価、一次単価、歩掛り（歩掛り一覧行のみ）の各ファイルから読み込むこともできます。

### 計算情報自動作成



Alt + D + A

単価計算が不要な単価を削除した標準単価ファイルをもとに、計算情報ファイルを自動作成します。



### ファイルメンテナンス



Alt + D + M

メンテナンス Excel ファイルを使って、計算情報ファイルに登録されているコード番号を新しい番号に置換することができます。



# VIII.名称ファイル

## 目次

はじめに

- I. 共通メニュー
- II. 一次単価ファイル
- III. 「その他」の率ファイル
- IV. 補正率ファイル
- V. 標準単価ファイル
- VI. 歩掛りファイル
- VII. 計算情報ファイル
- VIII. 名称ファイル

### VIII-1. 画面説明

列見出し.....VIII-3

### VIII-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....	VIII-5
新規作成.....	VIII-5
開く.....	VIII-5
閉じる.....	VIII-5
上書き保存.....	VIII-5
名前を付けて保存.....	VIII-5
ファイルプロパティ.....	VIII-6
印刷.....	VIII-6
名称保守の終了.....	VIII-6
[編集(E)]メニュー.....	VIII-7
細目分類登録.....	VIII-7
細目名称登録.....	VIII-7
切り取り.....	VIII-7
コピー.....	VIII-7
貼り付け.....	VIII-8
行を挿入.....	VIII-8
削除.....	VIII-8
すべて選択.....	VIII-8
摘要印刷位置（マトリクス）設定.....	VIII-8
備考の編集.....	VIII-8
単位選択.....	VIII-8
[表示(V)]メニュー.....	VIII-9
上位に戻る.....	VIII-9
下位に進む.....	VIII-9
画面分割／解除.....	VIII-9
[データ(D)]メニュー.....	VIII-10

名称ファイルのマージ .....	VIII-10
細目－摘要順序更新 .....	VIII-10
[オプション(O)]メニュー .....	VIII-11
システム設定 .....	VIII-11
[ウィンドウ(W)]メニュー .....	VIII-12
重ねて表示 .....	VIII-12
上下に並べて表示 .....	VIII-12
左右に並べて表示 .....	VIII-12
[ヘルプ(H)]メニュー .....	VIII-13
ホームページ .....	VIII-13
リファレンスマニュアル .....	VIII-13
eラーニング .....	VIII-13
バージョン情報 .....	VIII-13

## 操作説明（eラーニング）

標準単価作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)





## VIII-1.画面説明

名称データは、細目分類→細目名称→摘要名称の階層で構成されています。












階層を切り替えるときは、名称をクリックし、[表示]メニューの[↑上位に戻る]または[↓下位に進む]をクリックします。

※細目分類はデータにより複数の階層（最大6階層）で構成されているものもあります。

細目	単位	労材区分	細目コード	年月日時分	マテリアル	改訂	改頁	印刷不要	細目のみ	備考有無	Y軸登録印刷	備考	略名称	内訳での使用
根切り				10/10/00:00	YYY	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
埋戻し	m3	施工	00-132251	10/10/23 00:00	YYX	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
積込み	m3	施工	00-132612	10/10/23 00:00	YY	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
建設発生土運搬	m3	施工	00-132623	15/01/16 00:00	XXXXY	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
土工機械運転(クマトラック)	運転日	合成	00-032181	10/10/23 00:00	設定なし	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
法面養生	m <sup>2</sup>	施工	00-132281	02/02/01 00:00	設定なし	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
法面整形	m <sup>2</sup>	施工	00-132282	02/02/01 00:00	設定なし	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
地盤改良	m3	施工	00-132283	05/04/01 00:00	設定なし	3	自動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			する
根切り	分類			10/10/12 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
根切り・床付け・すきとり等	分類			10/10/08 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
埋戻し	分類			10/10/12 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
積込	分類			10/10/12 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
山留類	分類			02/02/01 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
排水	分類			02/02/01 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
建設発生土運搬	分類			10/10/27 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
土工機械運転	分類			10/03/30 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
試験費	分類			02/02/01 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
市場単価	分類			10/10/08 00:00				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

## 列見出し

名称保守画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名 称	説 明
① 細 目	細目分類または、細目名称が表示されます。 ※反転表示のアイコンはユーザーが作成した細目名称です。  細目分類   施工、   合成、   材工、   材料、   労務
② 単 位	細目名称が表示されているときに表示されます。
③ 労 材 工 分	分類、合成、材料、労務、施工、材工のいずれかが表示されます。
④ 細 目 コード	工事区分と独自区分、細目番号が表示されます。
⑤ 年 月 日 時 分	更新した日付と時間が表示されます。

---

名 称		説 明
⑥	マトリクス 軸 名 称	細目名称の行で表示されます。マトリクス表の設定が表示されます。 各欄ともクリックまたはダブルクリックで設定を変更することができます。 ※青文字の細目名称は、マトリクス表の設定で [印刷不要] が設定されています。
⑦	内訳での使用	[しない] 表示の名称は、内訳書作成システムの行挿入画面（標準単価ファイルからの単価を選択する画面）で当該名称の単価を表示しません。

## VIII-2.機能説明

### [ファイル(F)]メニュー

#### 新規作成




Ctrl + N  
Alt + F + N

 名称ファイルを新規作成します。

#### 開く




Ctrl + O  
Alt + F + O

 名称ファイルを開きます。

#### 閉じる



Ctrl + W  
Alt + F + C

 名称ファイルを閉じます。

#### 上書き保存




Ctrl + S  
Alt + F + S

 名称ファイルを上書き保存します。

#### 名前を付けて保存

F 12  
Alt + F + A

 名称ファイルに名前を付けて保存します。

## ファイルプロパティ



Ctrl + B  
Alt + F + B

### • ファイル情報

名称ファイルの情報を表示します。

### • ファイル構成

- 名称を作成する部署が複数ある場合、部署毎に独自 1~9 を割り当てると、細目コードの重複を防止することができます。
- 他に名称を作成する部署がないときは、独自区分 1 をクリックし、ユーザー名を入力します。

※番号の右側の欄は番号割り当ての根拠などをメモする場合などに利用できる欄で、ユーザー名や部署名を入力することができます。なお、入力しなくても単価計算は行うことができます。

### • 細目発番方法

コード番号の発番方法を選択します。

- **自動発番** システムが空き番号の小さい値から順に設定します。
- **手動発番** 任意の番号を選択して細目名称を登録するときに選択します。

### • 工種出典

名称ファイルに保存されている「その他」の率または補正率の工種の出典根拠を表示します。

## 印刷



Ctrl + P  
Alt + F + P

細目ー摘要リスト、ツリーリストを印刷します。

- **細目ー摘要リスト** 細目の名称と摘要を印刷します。
- **ツリーリスト** ツリー画面を印刷します。

## 名称保守の終了



Alt + F + X

名称保守を終了します。

## [編集(E)]メニュー

### 細目分類登録



Alt + E + S

細目分類（空白行）を挿入します。

※コスト研から提供された細目分類の変更はできません。

### 細目名称登録



Alt + E + M

細目名称を挿入します。

- ・細目発番方法が「手動発番」の場合は、任意の細目コードを設定します。
- ・細目発番方法が「自動発番」の場合は、自動で細目コードが設定されます。

※細目コードが「B0」、「E0」、「M0」で始まる名称はコスト研から提供される名称となり、細目名称や摘要名称の変更はできません。

※コスト研から提供された細目名称に、摘要名称を追加することはできます。


- ・摘要グループ名の変更、追加はできません。
- ・コスト研から提供された摘要名称の変更はできません。








### 切り取り

Ctrl + X  
Alt + E + T

選択した細目分類や細目名称を切り取ります。

例：切り取り&行挿入で、切り取った細目分類や細目名称を別の細目分類、または同じ細目分類に挿入する時に使用します。

※他の  名称ファイルから細目分類や細目名称を移動することはできません。


※細目分類や細目名称、摘要名称を移動すると、 名称ファイルを参照する  歩掛りファイル、 一次単価ファイル、 「その他」の率ファイル、 標準単価ファイル、 補正率ファイル、 計算情報ファイルも移動します。


### コピー

Ctrl + C  
Alt + E + C

選択した細目分類や細目名称をコピーします。

例1：コピー&行挿入で、コピーした細目分類や細目名称を別の細目分類、または同じ細目分類に挿入する時に使用します。

例2：コピー&行挿入で、コピーした細目分類や細目名称を他の  名称ファイルに挿入する時に使用します。

※他の  名称ファイルにコピーした細目名称には、新しい細目コードを設定します。

## 貼り付け



Ctrl + V  
Alt + E + P

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

## 行を挿入



Alt + E + I

コピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。

## 削除



Del  
Alt + E + D

選択した細目分類や細目名称を削除します。

※コスト研から提供された細目分類や細目名称の削除はできません。

## すべて選択



Ctrl + A  
Alt + E + A

すべての行を選択します。

## 摘要印刷位置(マトリクス)設定



Alt + E + F

マトリクス表の摘要グループの印刷書式を設定します。

横軸 (X) と縦軸 (Y) の組み合わせを設定します。

## 備考の編集



Alt + E + E

マトリクス表に出力される備考を編集します。

## 単位選択



Alt + E + Y

登録した細目名称の単位を選択します。

## [表示(V)]メニュー

上位に戻る



Alt + V + U

階層を切り替えるときに使用します。

下位に進む



Alt + V + B

階層を切り替えるときに使用します。

画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。

▶ 画面分割

Alt+V+V+P

▶ 画面分割解除



Alt+V+V+D

## [データ(D)]メニュー

### 名称ファイルのマージ





Alt + D + M

現在使用している  名称ファイルに、コスト研から提供された新しい  名称ファイルのデータを追加します。

※同じ名称データがあった場合は、日付の新しい名称データが上書きされます。

※新規に追加される名称データは、既存の細目分類の最後に作成された日付の入った細目分類の中に登録されます。

※工種の情報は、現在使用している  名称ファイルと新しい  名称ファイルの更新日付を比較し、更新日付の新しい内容で置き換えをします。

### 細目一摘要順序更新



Alt + D + R

細目分類や細目名称の表示順序を更新します。



## [オプション(O)]メニュー

### システム設定



Ctrl + M  
Alt + O + S

#### a. 既定のファイルの場所



名称ファイルの保存先フォルダをパソコンに記憶させることができます。

※選択したフォルダを消去して [未設定] に戻すときは、既定のファイルの場所ボックスの文字列を削除します。

#### b. バックアップを作成する



名称ファイルのバックアップファイルを作成することができます。

[バックアップファイルを作成する] を選択すると、ファイルを保存したときに自動的にバックアップファイルが作成されます。

## [ウィンドウ(W)]メニュー

**重ねて表示**



Alt + W + C

複数のファイルを重ねて表示します。

**上下に並べて表示**



Alt + W + V

複数のファイルを上下に並べて表示します。

**左右に並べて表示**



Alt + W + H

複数のファイルを左右に並べて表示します。

## [ヘルプ(H)]メニュー

ホームページ



Alt + H + H

■ コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

リファレンスマニュアル



Alt + H + M

名称保守に関するリファレンスマニュアルが表示されます。

eラーニング



Alt + H + L

■ コスト研ホームページ (eラーニング) URL

[https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4\\_1.html](https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html)

バージョン情報



Alt + H + A



